



著周西

致知啟蒙

全

口津6
169

和装本



西 周 著

明治七年
九月發兌

致知啟蒙

甘霖舍藏梓

致知啟蒙自序

明治三年八月八日甘霖舍藏梓

余嘗遊於歐羅巴頗悉其事情所觀凡百事物
目之以一字曰浩大若都邑府城若道路橋梁
若宮殿樓閣若廨署庠校祠宇教堂若幼孤啞
盲癩狂疾病諸院若分拆鑄鍛金銀硝磁諸工
廠若考古博物禽獸草木諸館園若銃砲船艦
海陸諸軍兵具戰器若瀛車電線驛遞銀行互
市諸場凡以觸目入耳者皆莫不愕然驚歎為

明洋6
號169
卷

致知啟蒙

自序

一

甘霖舍藏梓

及退而考諸書史徵諸學術惘然自失惛然自惑蓋其說之精微其論之詳確不啻繭糸牛毛自覺有心力不能以包括智力不能以剖拆乃又目之以二字曰精微夫此二義萬緒千端各不同其方浩大者務於外其極將至於無際精微者務乎內其極將入乎無間故從事于此而有手滑處不免於生疎褊小之病誠為難也今有兩得而兼之乎可謂獲魚與熊掌矣然獲之

必有道非朝夕之所能致也既而依致知之術求本末相依因果相應之故講究之久思惟之熟有一旦以心會曰精微者本也因也浩大者末也果也能盡其精微故能致其浩大矣獨怪世之耳學開化而口唱文明之徒能摸其浩大而遺其精微嗟亦莫非培根之不問而求結果之大耶然盡其精微蓋亦有方非審諸思惟之始而詳諸論辯之際則不能也凡學術之論公

會之議狀師之訴判官之斷苟不軌範於此將
幾乎作室於路傍亦何保基礎之固累架層構
無傾覆之患乎此書令刊而公于世聊欲以供
大匠利器之用固難與浮躁要速成者語也

明治七年六月

甘寐舍主人識



致知啟蒙第一卷

駿河 西 周 著



第一章 原學大旨

學テフ語ヲ言テ異テ説ナハ、大學ニ知ヲ致スト
ナム云ヘル是ソイト能適ヘル、此書ハ、歐羅巴ノ
ロシカ[拉] *logica* 佛 *logique* 英 *logic* 日 *logik* 蘭 *de
deveerkunde*]テフ學ヲ論ツルヒテ、吾人ノ致知
ノ法ヲ示サムトテ、マツロジカテフヲ、支那ノ語
ニ翻シテ、致知學ト名ケツ、サルニ、致知ノ文字、大

學ノ面テニテハ、致知ハ、格物ニ在リトイヒテ、此
 觀 [subjective view] ヨリ云ヘルト、彼觀 [objective view]
 ヨリ、云ヘルトノ差ヲニテ、別ニ致知ノ術トテ
 ハナク、物ニ格リヌレハ、即チ知ハ致リヌト、見エ
 タレハ、爰ニ説ク格物ノマヘニ、致知ノ術ヲ先ニ
 スルトハ、少シク事カハリヌレド、ソハ言ヲ断チ
 用フルモ、カハラ、拘ハラヌトニコソ、サテ致知
 學テフハ、此日本ノ國ニモ、支那ニモ、昔ヨリ、サル
 學ビノナキモノカラ、人イト朝ミ思フヘケレド、
 學ビノ道ニ、心ヲ寄ナム者ハ、何ノ學ビニモアレ、

得モ缺マシキ、手解キノ學ニテ、中ニモ、形而上ノ
 論ラヒニツキテ、此學ビノナカリセハ、數ノ學ビ
 ナクシテ、格物ノ學ヲ、事トスルカ如クナルヘシ、
 此學ビ、歐羅巴ニテハ、イト舊クヨリ、傳ハリツル
 コトニテ、カノ希臘ノ昔シ、亞立斯度德テフ、名高
 博識ニ創マリテ、之ヲロジカノ父トナム云ヒヌ
 ル、サレド其著ハセル書ドモノ中ニハ、ギアレクテ、
 ク [Saxeritzky] トテ、其規則モ、オホカタニ見エ
 タリト云フ、亞立斯度德ハ、カレノ紀元ノマヘ、三
 百八十四年ノ人ナリシガ、此學ビ、世々ニ傳ハリ、

其徒弟ヨリ、ストイク [Plato] テフ學派ノ輩ヲニ傳
 ハリ、ソレヨリ、羅馬ニ傳ハリテ、又スコラスチク
 [Scholastic] テフ學派ノ輩ヲニ傳ハリタリ、此スト
 イクノ時ヨリ、專ラロジカテフ名ヲ唱ヘ、羅馬ハ
 西賽魯ノ頃ニハ、全クダレクチクテハ、廢レヨ
 ケリ、サテ、スコラスチクノ時其規則大イニ備ハ
 リテ、輒近ノ新哲學ノ諸名儒ニ傳ハリタリ、其間
 タニ種々ノ發明ヲ添ヘ、沿革ヲ受ニタレド、大イ
 ナル變革ハ無カリシト見ユ、サテ此學トハ、如何
 ナル事ヲ目的トシ、如何ナル用トニ備ハツル者

ナリヤト云フニ、マツ、此學トニ名ケタル言ノ意
 ハ、希臘ノロコス [Logos] [語] レガイ [λογος] [語] ス
 テワ言ヨリ、ロジカト云ヒ、又ガ [Συνα] [共]、レガイ
 [Συνα] [語] ステフ言ヨリ、ダレクチクト名ケタ
 ル者ニテ、初メナルハ、語ヲ使フテフ意後ナル意
 人ト話ステフ意ヨリ、物ノ理リテ、論テフ意ニ、移
 リタリ、ソレ故ニ、舊クヨリ、ロジカテフ語ノ、定義
 トテ、論辨ノ術トソ、云ヒヌルコハ何ニモアレ、物
 ヲ論ラヒナムト、思フトキ、マツ理リノ至レルヤ
 ハタ至ラサルヤヲ、試ムル為ニ、トアル題ヲ設ケ

テ、其理リニ、合^カヘルヤ否ヤヲ、探^サラム為^シ、術^テナリ
 トナリ、譬^ヘハ、數學ニテトアル數ノ、幾^クヲ重^シナリ
 タルヤ、ハタ幾^クツニ、分^カタレ得^ルヤヲ、求^メナムニハ
 マツ書^キ記^セル符號ヲ設^ケテ、之^ヲ探^ルルカ如^シ、
 サルニ、此頃マテ、右ノ定義ニテ、傳^ハリツルヲ、イ
 ト近^キ英國ノ碩儒、合^ハ美^ト拉^ト頓^ト氏、改^メテ、思^慮ノ法
 ノ學^{Logic is the science of the laws of thought}ナリ
 ト、定義ヲナム、定^メツル、此定義モ、亦全^ク合^ヘリ
 ト、謂^ハレサリツレド、オホカタニハ從^カハレタ
 リ、ソハ名^ノ意^コツ、サルコトナレ、物^ノ理^リヲ、辨

マフルニハ、語^{コト}ニ表^ハレ、文字ニ書^キ連^ヌルナト
 ハ抑[、]未^ノコトニテ、思^慮ヲ運^フコリ、其本ナレ、サ
 レハ、思^惟考^索ノ理^法ナリテ、フニテ、概^キ略^カハ合^ヒ
 タレト、ナホ全^クハ、盡^サヌ節^ノアナルヲ、ソハ極
 メテ細^ヤカナル論^トニ、涉^レハ、爰ニハ漏^ラレシツ
 サテ、カク定義ナト、又ハ、彼[、]此^ノ規則ノ論^トニナト
 ニ就^テ、近^キ世ニハ、イト詳^カナルニ、至^リヌレト、
 大率^ハ、變^リモナカリツルヲ、此頃ノ碩儒、カノレ
 ストムオフロシク、*System of Logic* inductive and
inductive テフ、名^立タル書^ノ、著^者ナル、約^翰士[、]底[、]亞[、]

多彌爾氏ニ至リテ、大ニ其面目ヲ新タニセリ、
 今マテハ、唯論ヒノ理リヲ試ムルマテノ術ニテ、
 言ハ、黄金ノ良否ヲ見ルニ、カノ試金石ヲ用フ
 ルカ如クナリシヲ、彌爾氏ハ、新タニアル理リヲ、
 發明スルコトニ、用ヒタリ、是ノ近頃ノ致知學ノ
 新シキ發明ナル、今此書ハ、舊キ致知學ノ、合率ノ
 諸法ノミヲ舉ケ、聊カ初學ヒノ楷掇トナシ、其詳
 カナルコトハ、悉ク本ツ書ニ、譲リヌヘシ

第二章 文學關係

今トアル考ヘノ心ニ浮ヒタル隨ニ、之ヲ人ニ傳

ヘナムト、欲セハ、手ニテ傳ヘムカ、ハタ、足ニテ傳
 ヘムカ、コハ皆、依ルヘキ便ナラ予ハ、必ス三寸ノ
 舌ヲ待ツコト、言ヲ待スシテ著カリ、是此學ヒノ
 名ニ、言、又話ナトテフ意ヲ、含メル語ヲ、負スルコ
 トハ、由テ起レル所ニシテ、考ヘト、言トハ、イト親
 シキ族ラニテ、動モスレハ、紛レ易キナシメリ、サ
 テ、カク、此ニツノ者ノ、イト近ク、相睦ベル關係カ
 ラ、又學ヒノ序テモ、イト近ク、係ハレルコトアリ、
 ソハ、此致知學ニ、入りナムニ、言語文辭ノ學ナク
 シテハ、頗難キ業ニテ、猶足無ウレテ行キ、手無クシ

テ持ツニモ譬ヘツヘシ、サレハ、カレノ舊キ世々
ヨリモ、此致知學ヲハ、文章科ノ、三ツノ學ヒノ、奥
ノ學ヒトシテ、語科 [grammar] 文科 [philology] 論科
ナト立テタリ、此ウチ、語科ハ、此方ノ、テニヲハノ調
ヘナドニ均シク、文科ハ、文書ク道ノ、イト高キ際
ナリ、サテ、論科ハ、即チ致知學ニテ、文章科ノ、精シ
キ極ミトナムナシツル、コハ、實ニモ、サル理リニ
テ、カノ考ヘテフ者ヲ、律スルニモ、文字ノ使リナ
ラテハ、ナベテノ考ヘテ、総フヘクモアラス、其ナ
ヘテノ考ヘテ、総ル文字テフハ、即チ考ヘテ寫セ

ル、唱フヘク、記ルスヘキ言ナルヲヤ、コハ、猶精シ
クハ、奥ニ説キナム、サテ、カ、ル理リノアレハコ
リ、此日本ニテモ、支那國ニテモ、文章ノ學ヒニ、秀
テツル儕ハ、縱致知學テフ學ヒコソナケレ、其心
ノ趣ク所ハ、イカテ、サル堺ヲ踏マテ、アルヘキ、ソ
ハ今、此學果シタラム後ニ、爰ノモ、支那ノモ、能モ
ノセル文ドモヲ、見ヨ、頗此學ヒノ法ニ、違ヘル節
ノ、多カラムカハ、ナベテ、論ヒニ涉レル語ハ、此則
ヲ知ラス知ラスモ、自ラニ、踏ミツルヲ、サレト、今
宗トシ言フ所ハ、カク睦ヒ係ハレル學ヒノ道人

互ニ差ノアリテ、其界ノ、イト定カニ、切カニ、アナ
 レハ、一團ニ、クルノ見ステ、詳ラカニ、界ノ塚ヲ、建
 テ合クヘントナリ、是ソ前ニ云ヒシ定義ノ、イト
 重キ所ナルカニ、
 今此章第三章、學術分岐
 致知學ノ中、其半ハ、專ラ觀察上ニ涉リ、心カノ運
 用ヲ宗トシ論ヒ、直チニ哲學[Philosophy]ノ一部
 タル者ヲ、單純致知[pure logic]ト名ケ、其他シ半、
 ハ右ノ運用ヲ、事ニ引キ充テ、論ヲフ者ヲ、施用
 致知[applied logic]ト名ケタリ、コハ、舊クヨリ

有ル差ノニシアレト、唯此道ヲ、術トノミ云ヒ傳
 ヘタルヲ、英ノ碩學亂多來氏ニ至リ、分テ學術
 ヲ兼タリト云ヘリ、故ニ前ナルハ、專ラ學ノ等輩
 ニ齡ヒシテ、縦ヒ形而上ト、形而下ト、差ノコソ
 アレカノ、地學、星學、格物學、史學ナトト、並フ同シ、
 又後ナルハ、專ラ術ノカタニ就キテ、算術、幾何術、
 言語ノ術ナトト、肩ヲ並フヘキナリ、是誠ニサレ
 コトニテ、事毎ニ、演題ニカケテ、當否ヲ斷ハルハ、
 稀ナリトモ、此學ヒニ依テ、形而上ニ涉ル理リヲ
 斷ハルニ、自ラニ、カヲ得ルハ、其功ホシ、誠ニ鮮シ

トセス故ニ術ト云フヨリモ、學トイフニ、重ク涉
 リタル氏之ヲ以テ、衆學ニ入ルノ手解キトナシ
 テ、アラユル事ノ理リヲ考ヘ定ムルモノナレハ、
 術タルヲ免レ難シ、是ナム、此道ノ、學ト術トニ、涉
 リタル差メナル

第四章 原由學域

合美拉頓氏ノ說ニ、致知學ヲ、思慮ノ法ノ學ナリ
 ト云ヒレ如ク、コハ、吾人、心ニテ、トアル物ヲ考ヘ
 物ヲ辨マヘ、又物ヲ定メテ、然ナリト知ルテ、自
 カラナル三ツノ運ビニ就テ、其法ヲ立タル學ト

ニシヤレハ性理ノ學 [Psychology or mental philosophy]

リ、殆、其中ノ一部トモ、謂フヘク、爰ヨリ其源ヲ分
 ケ来リタルハ、言ヲモ待サルヘシ、サレト之ヲ性
 理學ニ較ヘナハ、其境ノ、イト狭キモノカラ、之ト
 相界ヒスル所ヲ分ツテ、要メナリトス、マツ、一ツ
 ニハ、情テフ者ハ、隣レト思ヒ、惡シト思ヒ、嬉シト
 思フナトハ、致知學ノ域ヲ外レタリ、又次ニ、意テ
 フ者ノ、言ハハト欲シ、行カムト欲シ、カニカクニ、
 為サムト欲スル類トハ、又、情ノ積リテ、妬シ、羨

マシトノ類ヒモ、此域ヨリ外レタリ、サレト、此
 中ニテ、意、カク思ハムト思フハカリハ、即チ意
 ノ考ヘテ、運フ作用ニテ、致知學ノ域ヒノ内ニハ
 アラサレト、假リ用フル者ニソアナク、故ニ致知
 學ハ、專ラ智ノ性ニ本ツキテ、情ト意トヲ、域ヒノ
 外ニ置キタリ、サレテ又此智ノ性ノ内ニモ、致知
 學ノ疆ニヨリ、外レタル者アリ、是春ノ草ヲ見テ
 緑リナリト知リ、秋ノ楓ヲ見テ、紅キナリト知
 リ、雪ニ白シト知リ、月ニ清シト知リ、又聞テ知リ、
 嗅テ知リ、味ヒテ知リ、覺ヘテ、痛シト知リ、冷

シト知ルノ類ヒハ之ヲ名ケテ、直覺、又無媒諦
 position 一ト名ケテ、皆此疆ヒヨリ、擯ケタリ、ナヘ
 テ上ニ擧ケタル種々ノ心意ノ運用ハ、皆致知學
 ノ係ハル所ナラ子ハ、與リ論ラフ者ニ、アラサル
 ナリ、サテカク域ヒノ狭キモノカラ、其後ニ遺リ
 タルハ、如何ナル所ソト云フニ、前ニ云ヒツル無
 媒諦ト、正ニ表裏トナリタル、有媒諦テフ者ニソ
 アナル、コハナホ第七章ニ説クヘシ
 第五章 念區概括
 横濱ノ童ヘ、犬ヲ見テ、夫ト知リ、長崎ノ童ヘ、鴉ヲ

見テ、鴉ト知ル。ハ、コハソモ如何ナル知リニカア
 ラム、ソレヲ見テ、ソレト知リナハ無媒諦ニコソ
 アナレ、サルヲ令横濱ノ童ヘニ、長崎ノ犬ヲ語り、
 又長崎ノ童ヘニ、横濱ノ鴉ヲ語りテ、互ニ其犬
 タルト、鴉タルトヲ知ラム。此長崎ノ犬ト、横濱ノ
 鴉トハ、未タ見サル者ナルヲ、今ナドテヨク其吠
 エムトスルト其鳴カムトスルトヲ、知ルヤ、コハ
 其心ニ、既ニ、犬ト鴉トアレハナリ、此心ノ上ノ、犬
 ト鴉トニ依テカノ未タ見サル、犬ト鴉トヲ知ル
 之ヲ念Conceptionト云フナリ、此念ヨリ得タル

者、正サシク致知學ニテ、使用ヒヌル域ノ内ナ
 ル、サレト、此念テフ者、直チニ成ル者ニアラス直
 覺ノ積リテ、念トナルハ、猶種々ノ度ヲ經テ、カノ
 蒸氣ノ變リテ、水トナリ又變リテ、氷トナル如ク、
 漸クニ聚リ又漸クニ凝テ、一ツノ塊リトナルニ
 至ルヘシ譬ヘハ、初テ犬ヲ見テ、其犬タルヲ知ル
 ハ、是直覺ナリ、又再ヒ佗シ犬ヲ見ニ、同レク犬タ
 ルヲ知リ、又三度見、四タヒ見、カクスルコト、度、重
 レハ、犬ヲ見ストモ、犬ノ犬タルハ心ニ遺レルヲ
 念ト名ケ、カクテ一ツノ念ノ、佗シ千萬ツニ、通ヘ

ルヲ概括カ。[power of generalization]トナム云
 フナル。是ヲ致知學ニテ、イト重キ司サ、勤メ勞
 ツク者ナル、此概括カニヨリテ、萬ツノ犬ヲ、犬ト
 見、萬ツノ鴉ヲ、鴉ト知リテ、今、蒸氣モ氷リト、結
 ヘル時ナレハ、所謂知リノ始メテ、致知學ノ用ト
 ニナム備フベカルサルニ又、此念テフ者ハ、外形
 内質ノ備ハレル者ノ、我心ニ、寫リタル者ナリ
 ト雖モ、其物ノ外形内質ヲ悉ク盡シ知ルニハ非
 ス、唯其重ニ目立レキ標ノ、若于ヲ知ルノ、譬ヘ
 ハ、神テフ念ハ吾人如何ニモ其外形内質ヲ盡ス

ヘキ由アラチト、唯宇宙ノ主宰トシテ、萬有ノ元
 始タルヲ、知ル耳、又聖人、賢人ナト云フモ、其外形
 内質共ニ、人々ニテ、異リアレト、賢ハ、愚不肖ノ反
 体ニテ、聖ハ、賢ニ勝レリテ、知ル耳、ハ、度量
 觀。[quantity]ニ就テ、概念。[notion]トイヒ、又一種、直
 チニ直覺ヨリ来リ、重ニ其外形内質ニ係ハリ、其
 物ノ形、面リニ、心ニ浮ヘル者ハ、形質觀。[quality]
 ニ係ハリテ、想念。[idea]トイフ、是即チ、後ニ云フ通
 フ名ト、專ラニスル名トノ差ヲ、據テ起ル所ナリ、
 此想念ノ類トニ、想像カ。[imagination]ト云フアリ、

コハ性理學ニテ、イト重キ司サヲ勤メ、爰ニテモ、
 ナベテ形而上ノ事ノ論ラヒニハ、想像力ノ助ケ
 ヲ取ルコト、特ニ多シト雖、此想像力、動モスレ
 ハ、妄想 [Fancy]ニ陥リテ、方寸ノ龕中ニ、五百ノ羅
 漢ヲ安置スルコト多シ、恐ルヘシ

第六章 命名定義 [definitions]

ナベテ、吾人ノ、物ヲ知ルニ、之ヲ知リテ後、一ツノ
 念ヲ作ルニ至リテ、名テフ者ソ、出来ノル、名テフ
 ハ、マツ聲ニテ、口ニ唱ヘ、次ニ手ニテ、記號ニ布ク
 者ニテ、其様コソ異レ、ナヘテ、言トナムイフナル

故ニ名ハ、マツ念アリテ、後ニ生ル、者ナルヲ、人
 ノ世ノ、開ケニ開ケテハ、アルトアル物事ノ、備レ
 ル後ニ、生ル、モノカラ、名ヲ先ニ知リテ、物ヲ後
 ニ、知ルコトソ多カル、コハ、サリナカラ、後夫 [Post
 teriori]ノコトニテ、先天 [Anteriori]ヨリ、サルニハ
 アラジ、サテ、此名ニ、通ヘル名 [common name]ト專
 ラニスル名 [proper name]トノ差メアルハ、世ニヨ
 ク知レタル、語ノ學ニ、詳カナレハ、更ニモ言ハ
 ス、其源トハ、上ニ云ヒレ概念ト、想念トニ、出タル
 ナリ、カクデ、物ノ名ヲ、文字トテ、トアル聲ノ記號

若クハ、其物ニ象リタル、画圖ヲ以テ、記シタルヲ
 書セル言ト名ケ、此書セル言ハ、唱ヘタル言ニ本
 ツキ、唱ヘタル言ハ、直覺ヨリ得タル念ニ本ツキ、
 念ハ物ヲ知ルヨリ出ツ、サレハ、トアル物ヲ、書セ
 ル記號ヲ以テ、人ニ示サムト、思フ時ハ、四ツノ媒
 チテ、歷テ、始メテ能、其心ノ至キヌヘシ、コハ、猶遠
 望鏡ノ、物ニ向フ玉アリ、眼ニ當ル玉アリ、又中身
 ニ種々ノ玉アリテ、能、微カナル遠キ物ヲ、見分
 ルカ如シ、致知學モ、右ノ四ツノ玉ヲ備ヘテ、始メ
 テ、微カニ隠レタル理ヲ、能、見分キ、知り分クヘ

キニナシ、サレト、眼鏡ノ玉人良カヲサシ、屢形
 チノ真トテ、失ハシ、其如ク、四ツノ媒、其違ヒ
 ヲリ、又理リノ真トテ、頭ハサヌコト、不恰多カシ
 ハ、定義ノ術、イト重カル、サレハ、此四ツノ媒、其
 ハ、各、其目サテ、所ノ物ト、一ノ意、カシ、以テ、物ニモ
 動モスレハ、其間名ニ、違ヒ、出来易キハ、物ト念
 ト、念ト言ト、其物ノ物タル所ヲ、念ト包ト得
 サルト、又逆サシ、言ノ意ヲ、念ト酌ト取リ得ル
 ルトナリ、故ニ、若、違ヒ、アリト知ラハ、物ヲ真トト
 レテ、是ニ照シ合セ、其念ヲ直スヘキナリ、サレバ、

コハ正サレキ形ノアル物 [concrete] テレテキカ
 ルコトヲ得ヘケレ、正レキ形ナクシテ、其性質ハ
 ミヲ指シタル想像上ノ物 [abstract] ニハ、如何
 カハセム、是ソ、違ヒノ、イトモ多キモノカラ、イト
 定カニ、切カニ、定ムヘキニナレ、アナル、サレ、コハ
 他ニ術ナシ、唯今ト昔シノ、正レキ文ハ、夕勝レタ
 ル著述家人、論セル者ナトヲ考ヘ合セテ、言ノ意
 ト、已カ念トテ、正スヘキナリ、譬ヘハ、仁者愛之理
 心之徳ト朱子カ定義ヲナシタル如ク、度量觀ニ
 テ、心ノ徳ト云ヒ、形質觀ニテ、愛ノ理ト、簡約ニ言

七畫シ、六字内ニ、主意ト界限トヲ、示レタル如ク
 ナルヘシ、サレト、コハ、定義ノ例ニ、舉ルノ、
 仁ノ定義ノ當否ヲ、謂フニハ、アラス、又外國ノ語
 ハ、之ヲ翻ヘスコト、イト難シ、ソハ想像上ニ、
 言ハ、多クハ、彼ト爰ト、念ノ上ニテ異ハリ、又正レ
 キ形ノアル者ニテハ、其形千ニテ異ハリ、譬ヘ
 ハ、仁テフ語ナト、爰ニ翻ヘサム語ナク、
 爰ノ金鍋トハ、異ナルカ如シ、學者能、心セヨカレ
 第七章 鈞念引考
 今マテ、上ニ述ツルハ、吾人ノ物ヲ知リテ、其物ノ

念ヲ作ルサテ之ヲ言ニ陳ヘ記號ニ布ク運ヒノ
 序テナリサレニカク種々ノ媒チヲ経テ記號ニ
 布クニ至リタリトモ單ナル念ニテハ致知學ノ
 用ニ供フヘキニアラス譬ヘハ夫ヲ夫ト題シ鴉
 ヲ鴉ト題シタリトモ何ノ理リ人明カシトナル
 へキカハコハ唯直覺ノ念トナリタルヲ言ニ題
 シタルマテナリイテ聊カ前ニ云ヒサレタル有
 媒諦ノコトニ立テ及リテ論ラヒナム前ニ第三
 章ニ例シニトテ舉タル春ノ草秋ノ楓ノ如キハ
 之ヲ念ヨリ取ル時ハ却テ致知學ノ題ニモ命ス

へキナリ譬ヘハ春ノ草ハ緑ナル者ナリ又秋ノ
 楓ハ紅井ナル者ナリナトノ如シサレドコハ無
 媒諦ニ嫌ヒアリテ且イト知り易キ理ナレハ何
 程ノ價直モアラス必ス上ナル言イト知レ難キ
 理リアルテ下ノ言ニテ説キ明シタル時ニ理リ
 ノ證^{アガ}シトモナルヘキナリ譬ヘハ神ハ聰明正直
 ナル者ナリ又郷愿ハ徳ノ賊ナリトカク神テハ
 ハイト不可識ノ者ナレド隱微ノ所ハ得モ知り
 能フマシ又舊惡ナトアリツラムニハ忘レモヤ
 ラズ人ニ仇ナス者ナルラント疑ヒノアル間ニ

聰明ト断ハリテ、隱微モ遺スコトナキヲ明シ、又
 正直ト断ハリテ、過惡アリソレモ改ムレハ、其咎
 ノヲ免ス者ナルヲ明シ、又郷愿ハ、世ニモ譽レア
 リテ、郷黨ニテモ、人皆信スル者ニテ、其行ヒノ有
 徳ニ紛ル、モノカテ、徳ノ賊ナリト、断ハル類ヒ
 ニコソアナレ、カク上ノ念ト、下ノ念ト、相待チテ
 其間タニ、知ル所アルヲ、有媒諦 [mediate cognition
 or inference] トハ云フナリ、コハ上ノ郷愿テフ
 言テ、知ルニテモナク、又下ノ徳ノ賊テフ言テ、知
 ルニテモナク、唯郷愿ヲ、徳ノ賊ナリト、知ルコト

ニテ、此知ルテフハ、知リテ念ヲ作ルニハアラス、
 作リタル念ヲ合セテ、上ノ念ト、下ノ念ト、相係ハ
 ル。理リヲ知ルコトニソアナル譬ヘハ、郷愿ノ郷
 愿タルハ、誰ニモ尋常ノ人ニモ知レタルコトナ
 リ、又有徳ノ人ハ、妨ケトナル者ヲ、徳ノ賊テフモ、
 誰ニモ知レタルコトナリ、サレトモ、令郷愿ハ、不
 誠アリケニテ、誰ニモ譽ソラル、者ナレハ、之ヲ
 徳ノ賊ナリテフハ、世ノ常ニ辨ヘ難キコトナリ、
 是ヲ以テ、萬章カ輩モ、尚ニツノ念ノ人相係ハル理
 リヲ曉リ得サル程ナリケレハ、之ヲ孟子ニ疑問

レケルニソ、サルヲ孔子、其郷愿ヲフ者ノ内ニ徳
 ノ賊トナルヘキ、理リノアルヲ、掲ケ出シテ示シ
 ケルナレハ、郷愿ヲ知ルニ非ス、又徳ノ賊ヲ知ル
 ニ非ス、唯此ニツノ者ノ相係ハル理リヲ知ルニ
 元郷愿ト、徳ノ賊ト人、媒ヲニ因テ知リタル理リ
 ナルカ、ルヲ有媒諦トイヒ、又其考ヘテ辨證ノ
 考ハ [discursive thought] ト名ケテ致知學ノ已、カ分内
 トシ、宗トシ、司トシ、所ナリ、又カク一ツノ念ヨリ、
 一ツノ念ヲ鈎引シ、一ツノ念ヲ一ツノ念ニ、套挿ス
 ルノ運用ヲ考ヘ [thought] ト云ヒ、辨 [judgement] ト

云ヒ、又性理學ニテ、意思 [will] ト云ヒ、思慮 [thought,
 phit] ト云ヒ、思量 [consideration] 思惟 [contemplation]
 ト云ヒ、計較力 [comparison] ト云フ、皆念ヨリ決ニ至
 ルノ中間ノ運用ニシテ、其中、念 [conception] 考 [how,
 phit] 決 [conclusion] ノ三ツハ、致知學ノ三大運用
 トス、サルニ、約マル所、吾人物ヲ知ルヲ本源ハ、
 モト同一理ニ外ナラス、コハ生性發蘊ニ説クヘ
 シ

第八章 立極命題

サテ、命題 [proposition] ノ法ハ、上ニ一ツニツ、擧

ケタル例シノ如ク、イハ、ロナリト命スルニ、上ニ、物ノ名一ツ、下ニ、物ノ名一ツナリ、此物ノ名ハ、前ニ云ヘル念ヲ、寫シタル名ニテ、此學ヒニテハ、名ト謂ハス、又言ト謂ハス、之ヲ極【イハ】ト謂フナリ、ソハ、語學ニテハ、言ニ種々ノ別チアレト、爰ニテハ、引キ概ノテ極ト云ヒ、唯一ツニ纏メタル念ハ、標シト見ルナリ、譬ヘハ、只犬トノミイヒテモ、一ツノ念ナリ、又白犬トイヒテモ、アルハ吾家ノ犬トイヒテモ、皆一ツノ念ノ識【シ】ト見、語學ニテハ、形質言、指示言ナト、分チタルモ、又他【シ】書キ廻【ス】シ

ヲモ、皆概ノテ、極ト謂フナリ、此極、上ノイ文字ノ位ヲ、主位【subject】ト名ケ、題ノ重ナル念トシ、下ノ口文字ノ位ヲ、属位【predicate】ト名ケ、主位ニ属セル念ナリトス、サテ、下ノナリテフ言ヲ、定言【肯定】トナム云フ、コハ、我カカクナリトカ、カクニアラストカ、断リタルヲ、示ス者ナリ、ナリハ、語學ニテ、ニアリノ約ノ、ニアリハニテアリノ約ノナレハ、肯定【affirmative】ニテ、イハ、ロニテアルゾト定ムル言、且時モ第二ノ現在ニテ、物ノ續キタルヲ示シ、ナレテ道理ヲ説クニ、イト當レリ、又否

定。[negative]ニテハ、ニアラサルナリト書クヘシ、
 イハロナラサルナリニテハ、ナリナルナレニ嫌
 ハシケレハ、初ノニ、音便ニテ、約マリタルヲ、ニア
 ラズト別ツヘキナリ、否定ノ下ノナリハ、是亦定
 言ナレハナリ、又主位ノ下ノハ、文字ハ、他國ノ
 言ニハ、カ、ルテニヲハナケレド、我國ノ言語ニ
 テ、正例ニテハ、之ヲ用フルヲ、當レリトス、ソハ、區
 別ノ助語トテ、彼ハ斯々ナリトモ、此ハ然ナリト、
 定ムル心ニテ、イトカラアリ、正例ニテハ、他ニテ
 ニヲハフ、通ハシ用フヘキニアラス

第九章 主属彙類

第六章ノ終リニ、言ノ定義ノコトヲ、説キツ、今ハ、
 主位ト属位トヲ別テテ、其致知學ニ係ハル法ヲ、
 詳カニ論ラヒナシ、其一ツ、形質觀ニ本ツク者ヲ、
 鉤引[deduction]ノ運用ト云フ、此運用ニテハ、主
 位ノ言正シキ形アル物ノ名ナルヘシ、正シキ形
 アル物トハ、其實體ヲ一ツ舉テ、是ニ附キタル形
 状、性質、功用ナド、ナヘテ、何ニマレ、ソレニ附キタ
 ル者ハ、悉ク其中ニ含ミタリト考フヘキ言ニテ、
 譬ヘハ、月トイハ、圓カナリテフモ、明カナリテ

フモ、又清シテフモ、其中ニ含メリト考ヘ、又風ト
 イハ、吹クテフモ、涼シ寒シテフモ、其中ニ籠レ
 リト考フルカ如シ、カク月トカ風トカ、名サレ舉
 ケテ極トスル物ヲ實體 [substance] ト云ヒ、何ニ
 マレ、其實體ニ附キタリト考フル者ヲ属性 [attribute]
 [qualitas] ト云フ、此考ヘヨリ、命題ノ一法ヲ得主位正
 シキ形ノアル實體ナレハ、其中ヨリ、一種ノ属性
 ヲ鈎引シテ、之ヲ掲ケ示スナリ、譬ヘハ、月ハ清キ
 者ナリ、君子ハ義ニ喩ル者ナリ、ナトノ如シ、又其
 一ツ、度量觀ニ本ソク者ヲ套挿 [induction] ノ運用

ト名ク、此法ヲ運用スルニハ尚預メ知ルヘキコ
 トアリ、之ヲ彙類 [classification] ノ法ト云ス、此
 彙類ノ法ヲ運用スルニ、共ニ知ルヘキニ通リノ
 運用法アリ、其一ツヲ分解法 [analysis] ト名ク、
 他ニ一ツヲ總合法 [synthesis] ト名ク、ナヘテ、何
 ニマレトアル考ヘテ得ル時直チニ之ヲ用フヘ
 キニアラス、マツ、此ニ通リノ運ヒニカケテ、アル
 ハ、合セ見、アルハ分チ見テ、其念入、他ニ念ト、相係
 ハル理リヲ求ムヘシ、譬ヘハ草トイハ、木ト分
 チ考ヘ、人トイハ、獸ト分チ考ヘ、又人ト獸トヲ

合セテ、動物ト考ヘ、草ト木トヲ合セテ、植物ト考
 フルカ如ク、分解法ハ、細ヤカナルヲ、尚細ヤカニ
 シ、綜合法ハ、大イナルニ、尚大イナルヲ加ヘ、カ
 ノ及ヒナム限リヲ、盡スヘシ、抑、此ニツハ心ノ運
 ヒハ、此學ヒニモ、限ラス、ナヘテノ學ヒノ道、又然
 ノミナラス、日々用フル、人ノ世ノ事ニモ、イト切
 ナルコトニテ、聖賢中下ノ人ト、分ル、モ、師ト称
 ヘ、弟子ト云フモ、皆此カノ強サト、至ルト、至ラサ
 ルトニ、係ハルナリ、ソハ其據ロヲ、彼觀ニ係クト
 ハイヘト、又此致知學ノ此觀ノ助ケヲ、厚ナミヒ

ムコト、鮮ナカラサルヘシ、サテ、右ノ二、通りノ運
 ヒヲ以テ、彙類ノ法ニカケナク、如何カ手ヲ下シ
 ナム、彙類ノ法ニ、上行 [*superordinate*] 下行 [*sub-*
ordinate] 同行 [*co-ordinate*] ノ三位アリテ、分解総合
 ノ二法ニ因テ、之ヲ考フルナリ、コヲ數ニ譬ヘハ、
 一ツヲ十、合セタルヲ、十ト云ヒ、十ヲ十總タルヲ
 百ト云ヒ、百ヲ十總タルヲ千ト云フ、カク考フル
 ハ、歴上ル綜合法ナリ、又之ヲ逆ニナシテ、千ヲ
 十ニ分レハ、百トナリ、百ヲ十ニ分レハ、十、十ヲ十
 ニ分レハ、一ツトナル、是歴下ル分解法ナリ、カ

ル考へハ、アルトアル天、地ノ間タノ物ニ當リテ、
 虚體ニモアル、實物ニモアル、人ノ心ノ考ハニ、ハ
 マル程ノ事ハ、何カハ、此域ヒラ遣ルハキ、今試ニ
 充テテ念ヲ、此考へハ、本トナシテハ、鬼ハ獸ノ一
 ツテ考へ出来ノリ、此考へヨリ、外ニ推シタラ
 ハ、鹿、猪、猿、狼、狐、狸、貉、猫、鼠ナド、俄カニ算ヘ盡スヘ
 一段歴上リタレハ、唯一ツツノ獸ヲ念トナシルカ
 リ、今此獸ヨリ、外ニ推シテ、其類ヒテ充テハ、魚ノ
 類、鳥ノ類、蛇、龜ノ類、ハタ人ヲモ加ヘテハ、動物テ

フ念ノ出来ノリ、サテ動物ハ、植物ト相並ヒテ、機
 性體トナリ、機性體ハ、無機性體ト並ヒテ、同レク
 天造物トナルカ如レ、コモ亦歴下リテ、考ヘタラ
 ハ、分解法ナルコト、言ヲ待ス、サテ、カク歴上リ、歴
 下リ総合分解ヲ試ミタル上ニテ、如何ニト云フ
 ニ、必ス三通リノ差ノヲ得ヘシ、ソハ上行、下行、同
 行ナリ、譬ヘハ、獸ハ鳥トハ、同行ナリ、鳥ヨリ動物
 ハ上行ニテ、鳥ヨリ鶴ハ下行ナリ、又是ニ擬テハ
 テ、再重上行、三重上行、又是ト相反ナルモアリ、サ
 レト、此中ニテ要ノナルハ、上行ト下行ニテ、舊ク

ヨリ、上行ヲ類「genus. pl. genera」ト云ヒ、下行ヲ種
 「species. pl. species」ト云ヒテ、差メヲナムナシツル、
 カク考ヘノ、ハキト極^キリタルヲ、彙類ノ法ト名ケ、
 カクテコソ、此學ヒノ上、ニテ、取^リアツカフヘケレ

第十章 歷上套挿

上ニ謂ヒシ、彙類ノ法ニ就テ、尚心ツクヘキコト
 アリ、ソハ、歷下リテハ、實體ノ念、愈、増シ、屬性ノ念、
 愈、減リテ定^キリ、又歷上リテハ、實體ノ念、愈、減リテ
 定^キリ、屬性ノ念、愈、増シテ廣クナルナリ、此考ヘヨ
 リ、套挿ノ法ヲ得、主位ノ言^ハ、種名ニテ、下行ナル

ヘク、屬位ノ言ハ、類名ニテ、上行ナルハ、譬^ハ、
 「牛ハ獸ナリ、獸ハ動物ナリ」ト言フヘクシテ、「獸ハ
 牛ナリ、動物ハ獸ナリ」ト言フヘカラサルカ如
 シ、又カク類名ノ主位ヲ、種名ノ屬位ニ、套挿スヘ
 カラサル耳ナラズ、同行ニテハ、必シモ、屬位ニ取
 ルヘキ理リナシトス、譬^ハ、魚ハ鳥ナリ、又梅ハ
 櫻ナリトハ、絶^ニテ考フヘカラサルカ如シ、是此學
 ヒノ本^ニ合ナル法ニテ、辨證ノ考ヘニ用フル所多
 キヲカシ、サレハ、前ニ舉^ゲタル、主位ヨリ、屬性ヲ鉤
 引シテ、屬位トナスヲ、鉤引ノ運用、又演繹「deducere」

[horn]ノ法ト名ケ、爰ノ下行ノ主位ヲ、上行ノ属位
 ニ套挿シテ、属位トナスヲ、套挿ノ運用又歸納
 [reduction]ノ法トナシ謂フナル、譬ハ「牛ハ獸
 テリテ、フヲ、演繹ノ法ニテハ、牛ハ中取ク、脚四ツ
 カリ、體カニ毛アリ、頭ヲニ角アリ、道理ヲ知ル性
 ハナシ、カトノ種カノ考ヘ、人ニ似タリ、カトヨリ
 モ、能、馬ニ似タレハ、馬ト同シク、獸ノ性ヲ備ヘ
 カト見テ、牛ハ獸ナリト斷言、又歸納ノ法ニテハ、
 牛ハ上ニ云ヘル性ヲ備ヘ、馬、羊、狼、犬ナトニ似タ
 レト、燕、雀ナトニモ、鯉、鯽ナトニモ、似ス、サレハ、其

総稱ハ、獸ニテ、獸ノ一ツトシ、其類キテ、入レ扱
 テ、牛ハ獸ナリト斷ハル類ヒナリ、アルハ、之ヲ彼
 ニ勝レリト、謂フ説アレト、彼ハ、主位ノ属質ヲ、属
 位ニ引キ下シ、此ハ、其属質ノ相似タルニ因テ、下
 行ヨリ、上行ヘ引キ舉ル者ニテ、何レモ、題ニ命シ
 タル所ニテハ、異ナルコトナク、必ス、上ヨリハ下
 リ、下ヨリハ上リテ、ニツノ運ヒ、相待ツ者ナリ
 第十一章ノ外延内包
 上ニ云ビレ命題ノ法ニ、尚心得テ、在ルヘキコト
 アリ、ソハ、上行ノ類名ヲ、主位トナシ、下行ノ種名

又、属位トナスハ、絶テ無シトモ、謂ヒ難シ、譬ヘハ、
 多クハ水ハ、松ナリ、或ハ、東人ナリ、徳ノ大イナ
 ル者ハ、仁ナリ、仁ヲスルハ、水ハ、孝弟ナリ、ナトノ
 如ク、コハ此例ニテ、言ヲ待スシテ、知ルベキ如ク、
 度量觀ト、形質觀トニ依テ、其標シテ加ヘタリ、カ
 ヲル所ニテハ、形質ノ標シモ、度量觀ト變リテ、其
 全サヨリ、減リタル者ナレハ、カク受クルコトノ、
 得ラル、ナリ、度量觀ニテ、主位モ、属位モ、正シク
 同シ量リトナレハ、其位并テ換ルモ、同シコトナ
 リ、譬ヘハ、前ノ例ニテ、仁ハ徳ノ大ナル者ナリ、孝

弟ハ、仁ヲ為ルノ本ナリ、テオモ、同義ナリ、ナレカ
 如シ、是正、上ノ正例ト、異ナル所ナリ、又譬ヘハ、
 獸ハ牛ナリト、絶テ謂フヘカラスト、雖モ、或ハ、獸ハ
 牛ナリト言ヘハ、牛ハ、獸中人一ナリ、テオモ、同ウ
 シテ、度量相同シケレハ、聴キルカ如シ、故ニカ、
 ル命題ニハ、量リノ標シテ加フル、天必ストス、能
 ヲ心スヘシ、ナテ、度量觀ト、形質觀トニ就テ、尚心
 得ヘキコトナリ、ソハ、トアル言、又、實體ノ名トシ
 テ、見レハ、度量觀ニ移リテ、之ヲ言、ノ外延、
 extensionト名ケ、又其属性ニ就テ、見レハ、形質觀ニ

移リテ之ヲ言ノ内包。[Comprehension]ト名ク譬
 ハハ人テフ言ヲナハテ日本人支那人天竺人西
 洋人ナトアルトアル五洲ノ人ヲ徴セリトレテ
 見レハ外延ナリ又仁智ノ性ヲ備ヘ道理ニ依テ
 動ク者ナリト見レハ内包ナリ又及物テフ言ヲ
 長カモ太カモカモ小カモ庖丁モト見レハ外延
 ナリ唯物ヲ切ル者ナリト見レハ内包ナリ此ニ
 ツノ考ヘノ中ニテ外延ノ考ヘハ即チ度量觀ニ
 テ重ク命題ノ上ニ係ハルコトナリサレハ此外
 延ノ考ヘヌ分チテ三ツトナシ各其標シヲ加ヘ

テ之ヲ辨フヘシ是一ツニハ單稱ナリ我國ノ言
 ニテハ一ツ言ヲ變ヘテ單稱ト複稱ト分ツ例
 シナケレハ言一ツニテ物一ツヲ示サムト欲セ
 ハ必ス下ニ一ツテフ言又上ニ指斥言ノ此テフ
 言ヲ加フヘシ然為サレハ全稱ニ紛ルナリ譬
 ハハ星見エ星一ツ見エナトノ如シ又イ下定カ
 ニ言ハサル時ハ或テフ言ヲ冠ラスモ可ナリ二
 ツニハ複稱ナリナハテニツヨリ上ツカタヲ示
 ス時ナリコハ其量リヲ大方ニ謂フ時ハ亦或テ
 フ言ヲ蒙ラスヘシ又ニツニ分チ僅カナル多ク

ノナトテフ言ニテ、其外延ヲ定ムヘシ、譬へハ、多
 ク。人、僅カナル水ナトノ如シ、三ツニハ、全称ナ
 リ、コハ、ナヘテヲ舉ル称ニテ、言一ツ用ヒテ、譬へ
 ハ、山ハ高キ者ナリ、鳥ハ飛フ者ナリナト言テ、知
 ラル。ナリ、サルニ、是ヲハ、分チテ二種トナレ、前
 ノ如キヲ、泛称 [indefinitive] ト云ヒ、ア。ラ。ユ。ル。悉。ク
 テ。フ。意。ロ。ニ。見。ル。ヲ、分称 [distributive] ト謂フ、然
 凡。是。ハ、約。マ。ル。所。同。シ。コ。ト。ニ。テ、此。學。ヒ。ニ。テ。ハ、サ
 マ。テ。拘。ハ。ル。ニ。及。ハ。ス、唯。命。題。ニ。テ。ハ、明。ク。ニ、全。称
 [universal] ト特称 [particular] トヲ示スカ為

ニ、全称ニ、凡。テ。用。ヒ。特称ニ、或。ヲ。用。ヒ、否定ノ
 全。称。ニ。ハ、下。ニ。何。レ。モ。ヲ。用。フ。ル。コ。ト。ニ。定。ソ。ツ、サ
 レ。ト。ナ。ヘ。テ。ス。ヘ。テ。皆。悉。ク、各。ナ。ト、拘。ハ。ル。ト。ニ。ア
 ラ。ス、唯。度。量。如。何。ト。見。ル。ハ、キ。耳、又。度。量。ノ。称。ナ。ク
 ト。モ、演。題 [syllogism] ニ。テ。ハ、斷。言 [conclusion] 少
 極。ハ。常。ニ。此。テ。フ。意。ロ。ニ。テ、老。約。ハ。ナ。ヘ。テ。テ。フ。意
 ロ。ナ。ル。ヘ。シ。ナ。ヘ。テ、外。延。ノ。考。へ。ハ、全。称。ニ。涉。ル。コ
 ト。多。ク、又。内。包。ノ。考。へ。ハ、特。称。ヲ。用。フ。ル。コ。ト、常。ナ
 リ、譬へハ、凡。テ。ノ。生。物。ハ、機。性。體。ナ。リ。テ。フ。ハ、外。延
 ノ。考。へ。ニ。テ、或。生。物。ハ、鳥。ナ。リ。テ。フ。ハ、内。包。ノ。考。へ

ナルカ如シ
 第十二章 同異表決
 一ツ言ニ、外延ト、内包トノ、考ヘアルハ、即チ度量
 觀ト、形質觀トニテ、今、前章ニ、援ツル例ニ如ク、
 形質ノ言モ、度量ト見、度量ノ言モ、形質ト見ル
 トアリ、カク互ニ相交ヘテ、ニ通ノ命題ノ法ニ
 ヲリ、言ノ内包ニ依テ、主位ヨリ、属質ヲ鉤引レ、又
 彙類ノ法ニテ、外延ヲ究メタラハ、自ツカラノ隨
 主位ヨリ、属位ヲ得ヘシ、是ソ誠ニ、致知ノ上ニ、源
 トシテ、百事ノ辨證ニ備フヘキ術ナルサルニ、尚

一、漏ルル、口トノ、アル、ソハ、カ、定言ノ事
 ナリ、是ニ、大運用ノ、最後ノ一ツニテ、之ヲ決シ、[Corus
 Superior]ト名ケ、イト重キ者ナリトス、ナヘテ、吾人
 天、地ノ間タノ、アルトアル物、其一體 [individual]
 ノ見ユル所ニ就テ、之ヲ言ヘハ、此犬ハ、此犬、此雞
 ハ、此雞ニテ、此犬ハ、能ク、吠ユル者ナリ、此雞ハ、能ク、飛
 行者ナリト言ヘハ、佗レ犬、佗レ雞ニ、通ハス、下キ
 ニアラズ、之ヲ真一 [univision]、又自己明證 [self-evident]
 ト謂ヒ、致知ノ學ヒニ、供フヘキニアラサレ、此
 退テ之ヲ考ヘ、概括力ニ依テ、得タル念ニテハ、此

犬モ、彼、犬モ、其犬タルハ、同シク、吾、兄モ、汝カ兄モ、
 其兄タルハ、同シトス、譬ヘハ、真一ニテハ、此イハ
 イナリ、此イハ、彼イニ非ルナリト云キ、致知ノ本
 疆ニテハ、イハロナリ、イハハニ非ルナリト謂フ
 カ如シ、今ハ此本疆ノ内ニテ、其同異ヲ求ムルヲ
 謂フナリ、譬ヘハ、前ノ題ニテ言ハ、牛ハ、獸ナリ
 テフハ、牛テフ念ト、獸ノ一類ナラフ念トハ、形質ヨ
 リ觀テモ、度量ヨリ觀テモ、同一ナリト見、又相表
 裏ニテ、牛ハ、啖肉族ニ非ルナリテフハ、牛テフ念
 ト、啖肉族テフ念トハ、如何ニシテモ、同一ナラス

マシ、自ラ欺クコトヲ得サル者ニテ、人ノ世ニ、イ
トモ重キ司サテ、勤ムル者ナレ、ソハ生性發蘊ニ、
宗トシ論ヲ所ニシテ爰ニハ言ハス、サテ、理性
ノシカニテアリ、又シカニハ非スト、極ムルヲ、此
學ニニテ、莫逆嘉納 [non contradiction] ノ法ト
云フ、言フ心ハ、アリト定ムルモ、アラズ定ムルモ、
カノ理性ノ隨ニシテ、必シモ礙ハル所ナキナリ
此法ヤ、唯一ツ、然シテ、之ヲ開イテ三ツノ單元 [元
[mom] ヲ立ツ、一ツニハ、肯定ノ定、說ハ同一ナリ
ト定ム、属位、主位ト、同一ナリト定メサレハ肯定

ノ題ハ考フヘカラサルコト、譬ハハ、イハロナリ
 テフカ如シ、ニツニハ、否定ノ定説ハ不同一ナリ
 ト定ム、属位、主位ト、不同一ナリト、定マサレハ、否
 定ノ題ハ、考フヘカラサルコト、譬ハハ、イハロニ
 非ルナリノ如シ、三ツニハ、一ツノ念ヲ、主位トナ
 シ、他シ念ヲ、属位トナシテ、二ツノ者ノ相係ハル
 考ヘハ、必ス肯定ト、否定トノ中、其一ツニヲチテ、
 肯定ト、否定トノ中間ニ在ルコトナシ、譬ハハ、イ
 ハロナリ、然ラサレハ、必スロニ非ルナリ、テフカ
 如シ、此三ツノ單元、莫逆嘉納ノ單元ヲ開キタ

ル者ニテ、素ヨリ分チ考フヘカラサル者ナリ、舊
 クハ、分タサルヲ、良シトシケレトモ、近頃ノ大家
 ハ、多ク之ヲ分テリト云フ、内ニモ、最後ノ單元ハ、
 其カイト強ク、其用ヒ極メテ大イナリ、學者能ク
 心スヘキコトナリカシ、サテ、爰ニ至ルマテハ、致
 知學ノ觀察上ニ、渉ル者ニテ、所謂學ニ附キタル
 所ナリ、後ノ篇ハ、術ニ渉ル所ヲ論ラヒナム

致知啟蒙第一卷終

致知啟蒙第二卷

駿河

西周著

第十三章 命題諸式
是ヨリ下ハ、致知學ノ業前ニ涉タル所ニテ、所謂術ノ部ナリ、前章ノ論ヲヒキテ、誰ニモ明カニ知ラルヘシ、致知學ノ疆域ノ内ニテハ、局外中立ノ權ヲ許スコトナキヲ、又知ラルヘシ、此分拆法ヲ用ヒテハ、黄金ト銀トノ相混ハレルニ、硝酸ヲ灌キテ銀ハ硝酸銀ニ化シ、黄金ノ殘レルヲ、サ



レハ致知學ニテハ、今解ト、総合トノ二法ニ從ヒ、
 前ノ單元ノニツノ内、何レニテモ、理性ノマニマ
 ニ、莫逆嘉納ヲ受ルニ、至ラヌレテハ、得モ止マサ
 ルナリ、爰ニ又配偶無ニ [occlusions] ノ法ト云フ
 アリ、命題ノ主位ニ配合スヘキ、属位ノ言ハ、苟モ
 是ヲ一ツ得タラハ、是即チニツトナキ同一ニ元
 真トノ配偶タレハ、佗シ千萬ツハ、此配偶ニアラ
 スト、知ルナリ、今「セハスナリ」テフ同一アラハ、イ
 モ、口モ、ハモ、佗シ四十餘リニツノ文字ハ、是カ妻
 ナラスト、知ルヘシ、サテ、カクシテ、命題ヲ得タル



時、再々度量觀ト、形質觀トニ、還ルコトアリ、形質
 觀ニテ、肯定ヲ表題 [affirmative propositions] ト云ヒ、
 否定ヲ裏題 [negative propositions] トイフ、又度量觀
 ニテ、アラユルノ標シヲ主位ニ加ヘタルヲ、全称
 ノ極 [universal terms] ト名ケ、アルテフ標シヲ、加
 ヘタルヲ、特称ノ極 [particular term] ト名ケ、ニツ
 ノ者相待チテ、四ツトナル、今煩シキヲ、省クカ為
 ニ、各標シニテ示ス、ソハ○ハ全称トシ、○ハ特称
 トス、又||ヲ肯定トシ、|ヲ否定トス、其式左ノ如
 シ

甲 全称ノ表題

乙 特称ノ表題

丙 全称ノ裏題

丁 特称ノ裏題

ナルニ、今唯數ノミヲ、目的ニ取リテ、相乘シタラハ、尚四ツヲ得共ニハツトナルヘシ

第一 甲

○イ||□□

第二 乙

□イ||□□

第三 亞甲

○イ||□□

第四 亞乙

□イ||□□

第五 丙

○イ|□□

第六 丁

□イ|□□

第七 半丙

○イ|□□

第八 半丁

○イ|□□

サテ、前ノ如ク、唯主位ニ、全特ノ標シテ、加ヘタルハ、正シキ例シナレト、属位ニ、其標シテ加フルハ、先哲モ、其說區々ナルヲ、コハ唯考ヘテ定ムル為ノミニテ、命題ニハ、シカスルニ非ス、サレト、爰マテ其考ヘ至ラスシテハ、命題モ、精シク定カナラスト、心得ヘシ、又此八式ノ中ニ就テモ、種々ノ説アリテ、唯甲乙丙丁ノミヲ、取ルト、其外ヲモ取ルトノ、別チアレト、唯半丙半丁ノミハ、何レモ取ル

者ナレト、云ヘリ、コハ、カ、ル式ニ協ヘル題ノ、曾
 テヨリ、有ラサリツレハナリ、又甲乙ノ二式ハ、表
 題ニテ、イト屢用ヒニ、供フル者ニテ、主位ヲ、属位
 ノ内ニ納レテ、其類ヒニ、閉コムル者カラ、之ヲ齒
 類ノ式。[Formula of inclusion]ト名ケ、表題ノ正、シ
 キ例レトス、又亞甲亞乙ノ式ハ、表題ニ用フルコ
 ト、イト稀ナリトハ、雖凡、絶_ニテナレトハ、言難シ、是
 ヲハ、立類ノ式。[Formula of constitution]ト名ケ、主位
 ノ者ニテ、属位ノ部類ヲ、造リ立ル。テフ考ヘナリ、
 譬ヘハ、人ハ皆道理ヲ知ル者ナリト云ヘハ、人ヲ

集ノテ、道理ヲ知ル者ハ、一類ヲ立ルト、考フルナ
 リ、又丙丁ノ二式ハ、不齒類ノ式。[Formula of ex-
 clusion]ト名ケ、主位ノ者ヲ、属位ヨリ、ハ子除キ
 タル考ヘニテ、用フル所ニヨリ、言ヲ反シテ、云フ
 モノカラ、イトカアル裏題ナリ、譬ヘハ、道理ヲ曉
 ラヌ者ハ、皆人ニ非ルナリト人如ク、道理ヲ曉
 ラヌ者ヲハ子出シ、戸ヲ閉チテ、人ノ類ヒニ、齒イ
 セスト、考フルナリ、サレハ、齒類不齒類、立類ノ三
 ツヲ、命題ノ三式ト名ケ、各、度量觀ノ二、通りニ乘
 シテ六式トナシ、以テ辨證ノ考ヘヲ、コトナハ、何

レ、ハタ如何ナル議題カハ、此六ツニ、約マラサル
 コトノ、アルヘキ、尚約ノ法^カノコトニ就テ、種々論
 ラフヘキコトアレト、ソハ、口授ナラテハ、悉スヘ
 クモアラス、精レキコトハ、本ツ文ニ譲リテ、是ヨ
 リ先、演題ノ論ラヒニ、カ、リナム
 第十四章、對偶互證
 前ニ論ラヒタル如ク、トアル主位ヨリ、アル属性
 ヲ拔キ出テ、直チニ考ヘテ引キ示スヲ主位ヲ
 命證「predicate」スルト云フカクノ如クシテ得
 タル題ヲ、ニツヨリ多ク聚メ、上、ノ考ヘヨリ、次キハ

考ヘテ、引キ明カスヲ引證「inferences」ト云フサ
 ルニ、此引證ヲ、又分チテ、ニツトナシ、唯單ヘニ引
 證トイヘト、今以テ演題ト別ツ為ニ、姑ク之ヲ互
 證ト云ヒ、佗レ一ツハ即チ演題「epithesis」ナリ
 トス、演題ハトアル考ヘテ直チニ引キ明カサス
 シテ、中間ニ媒チヲ置キ、是ニ據テ、引證スルモノ
 ナリ、故ニ其題三ツトス、互證ハ、媒チヲ取ラス、是
 ヲ以テ、彼ヲ引證スルモノナリ、故ニ其題ニツナ
 リ、コハ本、命題ヨリ、演題ニ移ル道ニテ、之ヲ以テ
 トアル真トテ、頭ハ手段^テトスルヨリモ、題ト題

トノ、係ハリアフ理リヲ、辨マフル為ニ、便リアリ
 トス、サテ、互證ニテハ、前ナル題ヲ、前唱「*antece-*
dant」ト名ケ、次ナル題ヲ、後和「*consequence*」ト名ケ、
 此後和ニテ、前唱ノ真トニ、協ヘリヤ、否ヤヲ、引證
 スル者ナリ、其法三ツアリ、一ツニハ、對偶法「*coni-*
trajosition」トコハ前唱ノ題ト、表裏ニナリテ、相並
 ビタル題ヲ設ケテ、其協ヘリヤ、否ヤヲ、見ルナリ、
 ニツニハ、反對法「*opposition*」トコハ前唱ノ題ト、
 相背カハリタル題ヲ設ケテ、見ルナリ、三ツニハ、
 轉換法「*conversion*」トコハ主位ト、属位トヲ、置換

ヘテ、見ルナリ、サテ、對偶法ニテ前唱ヲ偶主「*coni-*
trajonant」ト名ケ、他レ題ヲ、動カス者トシ、又後和
 ヲ偶客「*contrajonant*」ト名ケ、動カサル者ナ
 リトス、前唱表題ナラハ、裏ノ後和、裏題ナラハ、表
 ノ後和ニテ、度量ノ平称タル者ヲ、並ヘ下シ、マツ
 後和ノ属位ヲ、前唱ノ属位ト、全ク表裏ナル極ニ
 易ヘ、ソレヨリ莫逆嘉納ノ法ニカケテ、前唱ト較
 ヘナハ、必ス定言ヲ、易ヘスシテハ、ナラヌコトト
 ナルナリ、サレハ、表題ハ裏題ト換ハリ、甲ノ「○イ
 ll」ロ「ハ、丙ノ「○イ」○ロナラヌ者トナリ、譬ヘ

ハ、アラユル獸ハ生物ナリテスハ、アラユル獸ハ
 死物ニ非ルナリト云フカ如ク、又裏題ハ、表題ト
 換ハリ丁ノ、〇イー〇ロハ、乙ノ、〇イリ〇ロナラ
 ヌ者トナリ、譬ヘハ、或人ハ賢人ニ非ルナリテフ
 ハ、或人ハ不賢人ナリト易ルヘシ、此法ハ唯甲ト
 丙ト及ヒ乙ト丁トニノミ、施スヘシ

第十五章 反對互證

反對法ハ、又合テテ、五ツトナス、ソハ、本来反對
position proper [反言對] *opposition contradicto-*
ry [實反對] *opposition contrary* [小反對] *oppo-*

osition subcontrary [差等] *subalternation* [カハ本来]

反對テフハ、名ニテ既ニ知ラル、如ク前唱ノ真
 ト後和ニテ、助ケ頭ハス者ニハアラテ前唱ヲ
 破ラムト、立タル者ナリサレハ、前唱ハ真トナル
 ハ、後和ノ偽リ、後和ノ真トナルハ、前唱ハ偽リナ
 ルコト、三ツメノ單元ニテ著シ、譬々、〇イリ〇ロ
 テフヲ、真トナリトセハ、〇イリ〇ロテフハ、偽
 リナルコト著カク、譬ヘハ、人ハ皆死スヘキ者ナ
 リト言フヲ、人ハ皆死スヘキ者ニ非ルナリト云
 フカ如シ、コハ唯甲ト丙トノ間タニ在テ、度量同

シク形質異ニシテ、ニツノ中、何レカ真ト夫是レハ
 之、及言對ハ、甲ト丁ト、又乙ト丙ト、間々ニ在テ、
 度量モ、形質モ、共ニ異ナル者ナリ、コモ亦前唱ト
 後和トノ中、何レカ真トニ出ツヘクシテ、共ニ真
 ト、共ニ偽リタルコトナレ、唯本来反對ハ、共ニ全
 称ナレハ、言ハハ、交^カニ、拒^カキルコトヲ得テ、譬ヘ
 テ、教門ハ皆善ニ導ク者ナリテ、フヲ本来反對ニ
 テ、教門ハ皆善ニ導ク者ニ非ルナリト言ハハ、其
 真偽遷カニ、辨ヘ難キヲ、及言對ハ、全特相交ハレ
 ハ、其真偽イト頭レ易シ、今○イルコトヲ、○イトロ

トセハ、真偽自ラ明カニテ、譬ヘハ、教門ハ皆善ニ
 導ク者ナリテ、フヲ、或教門ハ善ニ導ク者ニ非ル
 ナリト言ハハ、前題ノ皆テフ字、肯シス可ラサル
 カ如シ、アルハ、本来反對ヲモ、及言對ト名ケ、別ニ
 差ノヲ立^テサルモアリ、此ニツハ、唯アリテフヲ、ナ
 シト、覆ヘシ言ヒテ、其主位ニ、此屬性ノ缺ケタル
 ヲ、示シタル耳ニテ、表裏ノ違ヒナルヲ、實反對ハ、
 此屬位ニ、相反セル實ヲ當^テタリ、コハ甲ト甲ト、丙
 ト丙ト、乙ト乙ト、丁ト丁トノ間々ニ在テ、度量形
 質、共ニ同シケレバ、屬位ニ、他レ極ヲ充テ、○イル

〇ロテフニ、〇イロハテフニ同レク、譬へハ、義
 ニ喩ル者ハ君子ナリテフヲ、義ニ喩ル者ハ小人
 ナリト云フカ如シ、サルカラニ、コハ両ツナカラ、
 真トナルコトハ、ナレト雖氏両ナカラ、偽リナル
 コトアリ、前唱真トナラハ、後和偽リナリト雖氏、
 前唱偽リナリトテ、後和必ス真トトハ、言ヒ難シ、
 譬へハ、〇イ、〇ロヲ、真トセハ、〇イ、〇ロハ、
 〇イ、〇ロニ、
 ホナト、數へ悉スハクモアラテ、其内ニ、一ツノ真
 アレハナリ、故ニ両ナカラ、偽リニ出ルコトアル
 ハ、小反對ハ、本来反對ト度量ノ違ヒニテ、コモ

亦度量同レク、形質異ナル者ニテ、乙ト丁トノ間
 タニ在リトス、コハ其一ツ真トニシテ、佗レ偽リ
 ナルコトアルカ上、ニ、両ナカラ、真トナルコトア
 リテ、両ツナカラ、偽リナルコトナシ、譬へハ、
 〇イ、〇ロ、
 〇イ、
 〇ロト言ハ、イノ属性ヲ鈎引シ、一
 ツハ、ロノ類ニ入レ、一ツハ、ロノ類ヨリ、省クコト
 ニテ、或人ハ賢人ナリ、或人ハ賢人ニ非ルナリナ
 トノ如ク、両ツナカラ、真ナルコトヲ、得ヘケレハ
 ナリ、差等ハ甲ト乙ト、丙ト丁トノ間タニ在テ、全
 称ヲ差主。[subalternant]トイヒ、特称[subalternant]

ト名ケ、形質同クシテ、度量異ナル者ヲ云フナ
 リ、コハ全称ノ中ニ、特称ヲ兼ルコトハ、得ヘレト
 雖、特称ノ中ニ、全称ヲ含ムコトハ、得ヘカラサ
 ルカ故ニ、差主ヨリ、差客ヘ移リテ、前唱真トナラ
 ハ、後和モ真トナルヘシ、然レモ、差主ノ前唱、偽リ
 ナリトテ、差客ノ後和、必ス偽リナリトハ、謂フヘ
 カラスシテ、真ナルコトアリ、譬ハ、人ハ皆聾啞
 ナリハ肯スヘカラストモ、或人ハ聾啞ナリト言
 ハ、真トナルカ如シ、又差客ヨリ、差主ヘ移リテ、
 前唱真トナリトテ、後和必ス真トナリト、謂フ可

ラスシテ、偽リナルコトアリ、然レモ、差客ノ前唱、
 偽リナラハ、差主ノ後和、必ス偽リナルヘシ、譬ハ
 ハ、今甲ヲ真トナリトセハ、其中ニ含メタル乙モ、
 真トナルコト著シ、サレトモ、甲モ乙モ、皆偽リニテ、
 ○松ノ草ト云ハ、自ラ係リ合フコト
 ナシ、此理リハ、裏題ニテモ然ナリ、ナヘテ反對互
 證ハ、兩題ノ相係ハル理リヲ、示セタル者ニテ、譬
 ハ、乙ノ「○鯨」魚ヲ偽リトセバ、乙ノ「反言對」
 ル丙ノ「○鯨」魚ハ真ナリトシ、丙ノ「本來反對」
 ル甲ノ「○鯨」魚ハ偽リトス、又差客ヨリ乙ノ「○山

小道ハ觀ルヘキ者ナリヲ或觀ルヘキ者ハ小道
 ナリトトノ如シコハ亞甲ニテモ然ナリ不定轉
 換ハ轉語ヲ換フルカ上ニ其度量ヲモ全称ヨリ
 特称ニ換フルナリ唯形質ハ易フルコトナリ甲
 ハ單轉換ニ供フ可ラサル者ナリ故ニ不定轉換
 ニテ乙ニ換フヘシ式ニテ○イトロヲ○ロ
 ○イト、イロノ極ヲ換ヘ又主位ノ度量ヲ易フル
 ニテ譬ヘハ凡テノ獸ハ動物ノ一ツナリテフナ
 動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ
 丙ヲ丁ニ換ヘ○イト○ロヲ○ロト○イトスヘ

シサレト丙ハ單轉換ニ供フヘキ者ナレハ此法
 ハ餘リニ用ヒ又格ナリ對偶轉換ハ對偶ノ法ト
 轉換ノ法ト相雜リテ重ナレル運用ナリ先轉語
 ニ倣ヒテ對偶ノ換語ヲ作リ此換語ヲ置キ換フ
 ルナリ丁ハ主位特称ニテ属位全称ナレハ上ノ
 二通りノ法ニ供フヘカラスサルヲ對偶法ニテ
 其否定ノ標シテ肯定トナセハ丁ノ對偶ナル乙
 ヲ得即チ○イト○ロヲ○イトロナラ又者ト
 ナレサテ此對偶ヲ倒サマニナシナハ○ロナラ
 又者ハ○イトトナル譬ヘハ久シク約ニ居ル能

ハサル者ハ仁者ニ非ルナリヲ久シク約ニ居ル
 能ハサル者ハ不仁者ナリトシ、之ヲ轉換法ニテ、
 不仁者ハ久シク約ニ居ル能ハサル者ナリトス
 ルカ如シ、又丙モ、右ノ如ク、覆ヘスコトヲ得ヘシ、
 即チ丙ノ對偶ハ、甲ニテ、甲ヲ得タル上、之ヲ不定
 轉換ニカケテ、乙ヲ得ヘキナリ、其外此轉換ハ、取
 ラサル説ト、又亞甲亞乙マテ、及ホス説トアリテ、
 區々ナルヲ令ハ唯其梗概ヲノミ舉テ、委シキコ
 トハ原ツ文ニナム、譲リツル

第十七章 演題四圖

前ニ論ラヒシ、引證ハ直チナルハ、互證ニテ、即チ
 此前三種ノ法ヲ、舉ツル者ナリ、其一ツハ、演題
 ニテ、爰ニ論ラフ旨ナリ、コハ媒チヲ取リテ、引證
 スル者ナレハ、其法モ種々アルカ中、ニ、正格[*case*]
porical]ノ演題ハ、極三ツアリ、之ヲ老極[*major*
term]中極[*middle term*]小極[*minor term*]ト名ク、
 此三ツノ極、一ツノ式ノ内ニ、再ヒ顯ハル、今一ツ
 ノ演題ヲ示ス、
 似テ非ナル者ハ、真ヲ賊スル者ナリ
 郷愿ハ、似テ非ナル者ナリ

故ニ郷愿ハ 真ヲ賊スル者ナリ
 右ノ演題ニテ、真ヲ賊スル者テフテ、老極トシ、似
 テ非ナル者テフテ、中極トシ、郷愿テフテ、以極ト
 ス、老ト少トハ、互^{カタ}ニ、後和ノ主位ト、属位トナル
 者ナリ、是ヲ以テ、極端[*extremities*]ノ名アリ、中ハ
 前唱ニシテ、ミ頭ハル、極ニシテ、又主位トナリ、属
 位トナルナリ、コハ專ラ餘ニツノ極ヲ量ル^{モノサシ}矩
 ノ如ク、題中ノ元極トシ、肯定ノ題ヲ、正格ノ如ク、
 布ク時ハ、佗レニツノ間々ニ在テ、老極ノ内ニ、含
 マシ、以極ヲ已レニ、含ム者ナリ、サテ、此三ツ以極

互ヒニ重ナリ、ニツツ、以主属トナル故ニ、題ハ
 三ツナリ、此三ツノ題又重大レル内ニテ、上ノ二
 ツハ、前唱ニ當リ、引證ノ目的トナリ、下ノ一ツハ、
 後和ニ當リ、即チ上ニツツヲ、引證セタルナリ、故ニ
 上ニツノ題ヲ、兩約[*promised*]ト名ケ、下一ツノ
 題ヲ、斷言[*conclusion*]ト云フ、又上ニツノ題ノ中、
 ニテ、老ト中ト頭ル、ヲ、老約[*major promise*]ト
 ナル、中ト少トナルヲ、少約[*minor promise*]ト
 云フ、故ニ必ス、三極相待テ、引證ニ供スヘキ、尋
 常ノ據證[*argument*]ニテモ、異ナルコトナシ、譬

へハ、老媪ノ言ニ、太郎ハ、温良^{オトナシ}不カラ、愛ラシイ^{イロイ}ト云^トカカ如シ、サレト致知家ニテハ、其序テヲ定メ、老約ヲ初メニ、以約ヲ次^キニ、サテ終リニ、カレテフ言ヲ冠リテ、断言ヲ置クナリ、今前ナル老媪ノ言ヲ、演題ニ布キナハ、温良ナル者ハ愛スヘキ者ナリ、太郎ハ温良ナル者ナリ、故^カ太郎ハ愛スヘキ者ナリトナルヘシ、カレテフハ、爰ノ舊キ言ニテ、カ^ルカユエニソレニテ、アルカラテフモ、同シ意ナ^ルヲ、今ハ短キヲ撰ヒ定メタルナリ、此記號ニ、表^スニテハ、カ^ル標シヲ用フヘシ、サテ、老ハ断ノ

序テハ、近カ^ハ少老断^ト天^トルヲ、良^トスル説^ヲリテ、サルヘキコトヲレト、今ハ唯舊クヨリ、傳ヘタルヲ、云フノミ、ナヘテ爰ニ論テ、演題ハ、前ノ甲乙丙丁ノ外ハ、取ラヌ、モシ其外ノ式ヲ用ヒテハ、断言ニ至リ、イト難カルヘシ、サテ、此演題ノ要メナル所ハ、老ハ二約ニハアラテ、全ク中極ニ在リ、故ニ、中極ノ位^ヲ井スル所ニ從ヒテ、其司^ル所亦異ナリ、サレト、據證^ノ真トニ於テハ、必^シモ、易ハルコトナリ、其中極^ノ占^位ニ、四ツノ差メアリテ、其差メニ因テ、演題ノ四圖ハ、出来タルナリ、ソ

ハ、次々表ニテ知ルヘシ

	老約	中	少	第一圖
斷言	少	中	少	第二圖
	少	中	少	第三圖
	中	老	少	第四圖

右ハ皆中極ヲ目的ニ取リテ立タル者ナレハ、其互ヒニ主位トナリ、屬位トナリタル様ニ、心シテ見ルヘシ。今楷様ノ為ニ、徳テフ中極、愛スヘキ者テフ老極、並テ正直テフ少極ヲ授ケヘシ。試シテ錯綜シテ此四圖ヲ試シヨサテ、此四ツノ圖ニ各

度量觀ト、形質觀トヲ充テ、上ノ甲乙丙丁ヲ配リ、演題ノ軌[moon]ト云フ者トス、サレハ、甲乙丙丁ヲ四ツノ圖ニ、乘ケテ、十六軌ヲ得、又各四ヲ乘ケテ、六十四軌ヲ得ルナリ、サレト、此六十四軌ハ、悉ク用ヒニ供フヘキ者ニハ、非ルナリ

第十八章 首圖定則

致知學家多クハ、此第一圖ヲ、演題ノイト能協ヘル式トシテ、之ヲ取リ、以謂ラク、此式ニテハ、中極其位井ヲ得、他シニ極ヲ結ヒテ、斷言ニ斷ハル者ナリト、コハ老約ノ中極ハ、老極ニ含マレ、少約ノ

中極ハ、少極ヲ含ミタルヲ、謂フナリサレト然相
 係ハル様ハ、少約ヲ前トシ、老約ヲ次トシタル、第
 一圖ノ変化ニテ、其様尤モ明カナリ、ソハ「○少極
 〓中極」○中極〓老極」〓〓少極〓老極」テフ演題
 ニテ、少極ハ中極ニ含マレ、中極ハ、老極ニ含マレ
 タリ、カレ、是ヲ以テ少極ハ老極ニ含マレタリテ
 フナリ、コハ裏題ニテモ、然ナリ、即チ「○少極〓中極
 〓中極〓老極」〓少極〓老極」ニテ、少極ハ中極ニ
 含マレタレト、中極ハ老極ニ含マレサルナリ、カ
 レ、是ヲ以テ、少極ハ老極ニハ含マレサルナリ、テ

フナリ、爰ニイフ含ムトハ、第九章彙類ノ法ニテ
 是ハ其ノ類ナリ、其ハ彼ノ種ナリ、テフコトニテ、
 譬ヘハ、少極ハ、中極ノ中ノ一種、中極ハ、老極ノ中
 ノ一種ナレハ、少極ハ、老極ノ中ノ一類ナリト、謂
 フニ均シ、又第十二章ノ同一不同一ノ考ヘニテ、
 之ヲ言ハ、是ハ其ト同一、其ハ彼ト同一ナレハ、
 彼ハ是ト同一ナリト、定ムルコトナリ、是此媒チ
 ニテ、彼ノ物ヲ引證シタルニテ、上ノ例シハ、此理
 リヲ示シタルナリ、又之ヲ理ニテ言ハ、此物ハ、
 其物ト、同一理ニテ、其物ハ、彼ノ物ト、同一理タレ

ハ、此物ハ、彼物ト同一理ナリト、謂ムカ如シ、サレ
 ハ、此理リニ因テ、一ツノ單元ヲ立テ曰ク、甲之與
 丙同一^一而乙之與丙同一則甲乙亦同一 [Things
 which are identical with the same thing
 are identical with each other] ト、是音圖ニテ、演繹
 ノ法ヲ運用スルノ定則 [rule] ナリ、此單元ヲ開イ
 テ、舊クヨリ、皆有全無之辨 [Distinction of omni et de
 nullis] ト云ヒ、二ツノ定則ヲ立タリ、其一ツハ、外
 延ノ考ヘニテ、種ト類トヲ、宗トシテ、演題ヲ考フ
 ル法ナリ、ソハ、可證諸類^ニ而定、其有無^可否^者亦可^下

證諸種而定、其有無^可否^也 [Whatever is (of
 formatively or negatively) predicated of
 a class, may be predicated in like manner (that
 of affirmatively or negatively) of everything inclu-
 ded in the class] テ、定則ナリ、コハ老約一^テ、中
 極ハ老極ノ類^{ナリ}トカニ非ス^トカ、命證^ニ、少約
 ニテ、少極ハ、中極ノ一種ナリト命證^シタラハ、斷
 言ニテ、少極ハ、老極ト同一^{ナリ}トカニアラス^ト
 カ、定證スヘシトナリ、爰ニテハ、中極ト少極トス
 類ト種ト見、老極ハ、中少二極ノ共ニ有テル形質

ト見タレトモ、此形質即チ類曰知、一層大イナル
 類ト見レハ、外延ノ考ヘナリ、二ツ目ハ、形質ヲ宗
 トシテ、内包ノ考ヘニテ、演題ヲ考フル法ナリ、ソ
 ハ、標中之標、是物之標、*The mark of a mark is a*
mark of a thing」テフ定則ナリ、コハイト
 理會カタキコトナレハ、譬ヘテ取りテ言ヒナム、
 今雪ヲトアル者ト定テ、此雪ニハ、冷シテフ標シ
 アリトシ、サテ冷キ者ハ、物ヲ冷ステフ標シアリ
 トセハ、即チ雪テフ者ハ、物ヲ冷ステフ標シアリ
 ト知ルナリ、其如ク、少極ニハ、中極テフ標シアリ

トス、是初メノ標シナリ、此標シナル中極ニハ、
 極テフ標シアリトス、是二ツ目ノ標シニテ、即チ
 少極テフ者ノ標シハ、老極ナリ、是内包ノ考ヘナ
 リ、サテ、此三ツノ定則ニ本キテ、又三ツノ條則ヲ
 立テタリ、一ツニハ、少約ハ、必ス肯定ナルヘシ、此約
 ニテハ、少極ハ、主位トナリ、中極ハ、属位タレハ、主
 ハ、属ノ内ニ、含マレテ、少極ハ、種名、中極ハ、類名ナ
 ルヘシ、モシ否定ニテ、含マレサル時ハ、老約トノ
 關係ヲ失フナリ、二ツニハ、老約ハ、必ス全称ナル
 ヘシ、此約ニテハ、中極主位トナリ、類名ナル故ニ、

收口收蒙
 卷二
 十九
 封

其類又総コル老極、猶総概ノ名ナルヘク、故ニ
 特称ナリ、三ツニハ、老約ノ形質「肯否」ハ、断言ノ形
 質ヲ定メ、必約ノ度量「全特」ハ、断言ノ度量ヲ、極ム
 ルコトト、知ルヘシ、コハ言ヲ待サルコトナリト
 云、心スヘキコトニナム
 第十九章 演題通則
 上ニ舉タル定則ハ、第一圖ニ當ツル者ニシテ、他
 三ツノ圖ニ通ハスヘクモアラヌアル説ニ
 於テ、他三圖モ、第一圖ニ化シテ見ルヘシト云
 也、又或説ニテ、通則ヲ用フヘシト云ヘリ、此通

則ノ元規トテ、一ツハ肯定ニ係ハリ、他シハ否定
 ニ係ハリテ、立タル單元、次ノ如シ、曰ク「二極之真
 第三極相合者、亦互相合」Two terms which agree
 with the same third term agree with each other
 又曰ク、其一合、而其一不合者、莫相合、其「Two terms,
 whereof the one agrees and other disagrees
 with the same third term, disagree with
 each other」第三極トハ、中極ヲ指シ、二極トハ、老少
 ナリ、コハ、トアル三極アル時ハ、中極ヲ本トシ、莫
 逆嘉納ノ法ニ因テ、同一ナリトカ、不同一ナリト

カ、相量リテ、表裏二題、内ニ、定ムヘシトナリ、即チ甲之與丙同一、而乙之與丙同一、則甲乙亦同一、テラ單元ヲ説キタルナリ、唯此二則ヲ用フハ、先度量ノ標シテ、審カニシテ、特称ノ題ハ、全称ノ題ノ内ニ、含マル、ユトナキヲ、能ハ心スヘシ、サテ、此二ツノ單元ニ就テ、六ツノ條則ヲ立タリ、是演題ノ通則ニシテ、此六ツニ、外ル、時ハ、偽題「fallacy」ナリト知ルヘシ、一ツニハ、演題ハ、三極ヲ常トシ、多クハ可ラス、少ナカル可ラス、唯少ナキコトハ、絶テ

無シト雖、氏、時トシテ、一ツ言ノ種々ニ心ヲ持ツコトアリテ、全特ノ統紛ラハシク、三ツヲ極、四ツトナルコトアリ、譬ヘハ、恭近於禮、遠恥辱ヲ題トシ、第二圖ニテ、恭ノ禮ニ近キ者ハ、恥辱ニ遠カル者ナリ、君子ノ禮ハ、恥辱ニ遠カル者ナリ、カレ君子ノ禮ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリト云フ如ク、禮ハ字ヲ攬テ、極ヲ四ツニシタルナリ、今本題ヲ正シ、同シク、第二圖ニテ、恥辱ニ遠カル者ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリ、君子ノ恭ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリ、カレ君子ノ恭ハ、恥辱ニ遠カル者ナリト云ハ、

合格ナルハ、心スヘキコトナリカレニツ
 ニハ中極ハ、二約ノ内ニテ其一ハ、必ず全称ナル
 一、中極ハ、二極ヲ較スル者ナレハ、キレ再ヒ特
 称ニテ顯レタラハ、断言ニテ支障アルコト顯言
 待タズ、譬ハ、第三圖ニテ、或小人ハ、邦家ヲ乱ル
 者ナリ、或小人ハ、刑罰ヲ畏ル者ナリ、カレ邦家
 ヲ乱ル者ハ、刑罰ヲ畏ル者ナリ、如シ之
 ヲ中極特称ノ偽題ト云フ三ツニハ、老少ノ二極
 約ニテ特称ニテ断言ニテ全称トナル時ハ、二類
 トナルナリ、之ヲ老極不法、又少極不法ノ偽題ト

云フ、譬ハ、第四圖ニテ、不屑ハ、教誨ナリ
 教誨ハ、善ニ導ク者ナリ、カレ善ニ導ク者ハ、不屑
 ノ教誨ナリト云ハ、老極不法ノ偽題トシ、又第
 四圖ニテ、宴饗ハ、歡ヲ合スル者ナリ、歡ヲ合スル
 者ハ、禮ナリ、カレ禮ハ、宴饗ナリト云ハ、少極不
 法ノ偽題トスルナリ、四ツニハ、兩約トモ、肯定ナ
 ル時ハ、断言必ず肯定ナルハ、然ササレハ、第一
 ノ單元ニ、戻ルナリ、五ツニハ、兩約ノ内、何レカ否
 定ナラハ、断言ハ、否定ナルヲ必ストス、然ササレ
 第一ノ單元ニ、戻ルナリ、六ツニハ、兩約共ニ、否

定ナレハ、斷言ヲ下スニ、由ナシ、此内ニテ第一條
 ヲ犯スハ、演題ノ正シキ形ヲ誤ルナリ、第二三條
 ヲ犯スハ、度量ヲ誤ルナリ、第四五六條ヲ犯スハ、
 形質ヲ誤ルナリ、中ニモ中極特称ト、老少不法ノ
 偽題得テ有、勝ナリトス、學者能、心スヘシ言
 第ニ十章ハ、二十四軌
 上ニ云ヒシ六十四軌ヲ、右ノ六則ニカケテ試ム
 レハ、圖コソ、如何ニモアレ、其内五十三軌ハ、必ス
 斷言ニテ、イト醜クシ、コハ、一ツモ、第一則ヲ犯セ
 ルニ、アラサレトモ、度量形質ハ、二類ノ則ヲ

犯セル者トス、故ニ此五十三ヲ六十四ノ内ヨリ
 除キ、殘レル十一軌ヲ得、コハ、常ニ用ヒテ供
 カリ、此十一軌ノ内、四ツハ、肯定ノ斷言ニテ、甲甲
 甲、甲甲乙、甲乙乙、乙甲乙ナリ、七ツハ、否定ノ斷言
 ニテ、甲丙丙、甲丙丁、甲丁丁、丙甲丙、丙甲丁、丙乙丁
 丁甲丁ナリ、サレニ此十一軌、悉ク四圖ニ充テヘ
 キ者ニアラサレハ、其充ツヘキ者ヲ撰ビテ、各六
 ツカニ配リ、二十四軌ヲ得ルコト、左ノ如シ
 第一圖
 甲甲甲
 甲甲乙
 丙甲丙
 丙甲丁
 丙甲乙
 甲乙乙
 丙乙丁

第二圖

丙甲丙

丙甲丁

甲丙丙

第三圖

甲丙丁

丙乙丁

甲丁丁

第四圖

甲甲乙

乙甲乙

甲乙乙

第五圖

丙甲丁

丙乙丁

丁甲丁

第六圖

甲甲乙

甲丙丙

甲丙丁

第七圖

丙甲丁

丙甲丁

丙乙丁

右月内、欄内ナル五軌ハ、全称ハ断言ヲ受ケヘキ
 所ニ特称ヲ受ケタレハ、用ヒ三供ヘ難トトテ、遺
 則テ四圖ハ内ナル十九軌ハ、上ノ六條則ニ照ラ
 違フコトナキヲ以テ、皆用フヘキ者ナレト、猶

カシコ爰ニソレソレ條則ハ入ルコトアリ、コハ
 皆上ノ通則ヨリ、推擴メタル者ナリ、ソハ

第一圖ニテ、此圖ハ、三ツノ殊別ナル條則ハ、前
 ニ云ヒレ如クナリト雖モ、且又、通則ニモ照スヘ

キナリ、ソハ、一ツニハ、少約ハ、必ス肯定ナルヘシ、
 モシ之ヲ否定トナサズ、第六則ニ從ヒ、老約ハ、肯

定ナルヘクシテ、其属位ハ、老極ハ、特称ナルヘク、
 又第五則ニ從ヒ、断言ハ、否定ナルヘクシテ、其属

位タル老極ハ、全称ナルヘシ、是第三則ヲ破リテ、
 老約不法ノ偽題ニ陥ルヘシ、二ツニハ、老約ハ必

收如收錄
 卷二
 二五
 廿
 録

ス全称ナルヘシ、モシ其主ノ中極ヲ特称トナシ
 タラハ、今云ヘル通則ニテ、少約ハ肯定ナルヘク
 シテ、其属位ノ中極ハ、特称トナスヘシ、是第二則
 ヲ犯シテ、中極特称ノ偽題トナルヘシ、三ツニハ、
 老約ノ形質ト、少約ノ度量トハ、断言ヲ極ムルコ
 ト、前ニ云ヒシ如シ、故ニモシ老約否定ニテ、断言
 肯定ナラハ、第五則ヲ犯スナリ、モシ老約肯定ニ
 テ、断言否定ナラハ、第四則ヲ犯スナリ、又ハ極
 此圖ニテ、少約ト断言トノ主位ナルニ、前ニ特称
 ニテ、後ニ全称ナラハ、少極不法ノ則ヲ犯スヘシ

唯少約ニテ、全称ナラハ、是ニ継ク断言ハ、少極
 差等ニテ、特称タルヲ得ヘシ
 第二圖ニテ、此圖ノ殊別ノ則ハ、三ツアリ、一ツ
 ニハ、約ノ内一ツハ否定ナルヘシ、モシ両ツナカ
 テ、肯定ナル時ハ、中極両約ノ属位ニテ、再ヒ特称
 トナルヘシ、二ツニハ、断言ハ否定ナルヘシ、約ノ
 内一ツ否定ナレハ、第五則ニ従ヒ、サナクテハ、得
 アテシ、三ツニハ、老約ハ、全称ナルヘシ、断言否定
 ニテ、其属位ノ極全称ナレハ、其本タル極約ニテ
 ハ、全称タルヘキナリ

第三圖ニテ、此圖ノ殊別ノ則ハ、ニツアリ一ツ
 ニハ、少約ハ肯定ナルヘシ、モシ否定ナル時ハ、第
 六則ニ因テ、老約肯定トナリ、其屬位ノ老極ハ、全
 称タルヲ得サルヘシサレト、第五則ニテ、断言ハ
 必ス否定タルヘケレハ、其老極ハ全称トナリテ、
 老極不法ヲ犯スヘシ、ニツニハ断言ハ、必ス特称
 ナルヘシ、第五則ノ如ク、少約ハ、肯定ニテ、其屬位
 ノ少極特称ナレハ、断言ニテ少極全称ナラハ、少
 極不法ヲ犯スニ至ルヘシ
 第四圖ニテ、此圖ハ、容易カラヌ圖ニテ、之カ為

ニ、殊別ノ則ヲ、立テスレテハ、至ラヌ節ソ多カル、次
 ノ三ツハ、用ヒ來レル内ニテ、イト廣キ者ナリ、一
 ツニハ、モシ老約肯定ナル時ハ、少約ハ、全称ナル
 ヘシ、中極ハ、老約ノ屬位ニテ、此約肯定ナル時ハ、
 特称ナリ、サルヲ、モシ少約特称ナル時ハ、中極ハ
 其主位ナレハ、再ヒ特称トナルヘシ、故ニ中極特
 称ノ誤リヲ防クヘキナリ、ニツニハ、少約否定ナ
 ル時ハ、老約必ス全称ナルヘキナリ、モシ老約特
 称ナラハ、主位ノ老極特称タルヘシ、サレト、第五
 則ノ通りニテ、断言ハ、否定ナルヘク、而テ爰ノ老

極ハ、全称ナルヘケレハ、老極不法ヲ犯スコトト
 ナルナリ、三ツニハ、少約肯定ナル時ハ、断言ハ、特
 称ナルヘシ、少極少約ノ属位トシテ、特称タレハ、
 断言ニテ、全称タルコトヲ得ヘカラス、是少極不
 法ノ罪ヲ防クナリ、

第二十一章 化形還元

上ニ舉タル條則ハ、サルコトナレバ、アル致知學
 家ハ、第一圖ヲノミ取りテ、之ヲ正圖トシ、他ニ三
 ツハ、其变格ト見テ、之ヲ第一圖ノ演題ニ直シテ
 用フル者アリ、カク直ス又「還元」[reduction]トハ

云フナリ、其法重ニ一約カ、若クハ、兩約ヲ轉換ノ
 法ニテ、直スコトニテ、第二圖ハ中極元ヨリ、少約
 ニテ、正^ヤシキ位ニ在レハ、老約ノ轉換ニテ、事濟ム
 ヘシ、第三圖ハ少約、第四圖ハ、兩約ノ轉換ニカク
 ヘシ、サルニ、カク轉換ニカケタラハ、其演題、原ノ
 圖ニテハ、イト良キモノヲ、第一圖ニ、移シテハ、サ
 ナキコト間々アリ、ソハ、第二圖ニテ、甲丙丙ハ、イ
 ト良キ題ナルヲ、移シテハ、老極不法ヲ犯スカ如
 シ、サレト、第一圖ニテハ、丙甲丙、イト良キ題ナレ
 ハ、此兩約ノ位并ヲ、相換フレハ、藥リヌルコトヲ

得へキナリ、サルニ又、カク約ノ位ヲ換フル時ハ、
 時トシテハ、轉換ニ及ハサルコトアリ、サレトモ、カ
 ヲ相換ヲナス時ハ、老少ノ極、其職掌ヲモ換ヘア
 者カラ、其響キニテ、斷言ノ轉換ニ、至ルヘキナ
 リ、故ニ還元ハ、時ニヨリテ、三ツノ法ヲ用フヘシ、
 即チ約一ツ、又ハ二ツノ轉換、兩約位置ノ相換
inposition 斷言ノ轉換ナリ、此三ツノ法ヲ互
 ニ用ヒテ、還元ハ、出来ヘキコトナレト、唯第二圖
 ノ甲丁丁、第三圖ノ丁甲丁ハ、丁ヲ直チニ轉換ニ
 カクヘカラサレハ、イト難シトス、コハ對偶ノ法

ニテ、其障ハ、リヲ去ルヘシ、ナヘテ此還元ノ法ト、
 又正圖ト變格ト、諸軌ノ係ハリアフ様トヲ示サ
 ムトテ、舊クヨリ、拉丁語ノカノ國フリノ歌ニ約
 ノテ、記性ノ助ケニトテ、傳ヘタルヲ、今ハ表ニ寫
 シテ、左ニ示ヌナリ

第一圖	第二圖	第三圖	第四圖
甲	乙	丙	丁
乙	甲	丁	丙
丙	丁	甲	乙
丁	丙	乙	甲

還元表九十軌

右ノ表ハ、第二三四圖ノ變格ヲ、其上ニ當ル正圖

冬 丁 _② 乙 _③ 丙 _④	秋 乙 _② 乙 _③ 甲 _④	夏 丙 _② 甲 _③ 丙 _④	春 甲 _② 甲 _③ 甲 _④	第一圖
オ _② リ _③ 五 _④	イ _② リ _③ ダ _④	ト _② ： _③ ラ _④ セ	ラ _② バ _③ ル _④ バ	第二圖
南 丁 _② 乙 _③ 丙 _④		東 丙 _② 甲 _③ 丙 _④	北 丁 _② 丁 _③ 甲 _④	第三圖
ノ _② チ _③ ス _④ 五 _⑤		レ _② サ _③ セ	コ _② ロ _③ バ	第四圖
御 丁 _② 甲 _③ 丙 _④	禮 乙 _② 甲 _③ 甲 _④	西 丙 _② 丙 _③ 甲 _④	數 丁 _② 甲 _③ 丁 _④	
ン _② チ _③ プラ _④ 五 _⑤	チ _② プラ _③ ダ _④	ス _② レ _③ ト _④ ス _⑤ メ _⑥ カ	ド _② ル _③ カ _④ ゴ	
書 丁 _② 乙 _③ 丙 _④	射 乙 _② 乙 _③ 甲 _④			
ソ _② リ _③ 五 _④	シ _② チ _③ ダ			
金 丁 _② 甲 _③ 丙 _④	樂 乙 _② 甲 _③ 乙 _④	火 丙 _② 丙 _③ 甲 _④	木 乙 _② 甲 _③ 甲 _④	
ホ _② ザ _③ 五 _④	ハ _② ミ _③ サ _④ チ	ス _② チ _③ メ _④ カ	プ _② チ _③ ン _④ マ _⑤ ラ _⑥ フ	
水 丁 _② 乙 _③ 丙 _④	土 乙 _② 甲 _③ 乙 _④			
シ _② シ _③ 五 _④	ス _② リ _③ マ _④ チ			

ニ照レテ、之ヲ直ス、ハキヨク示シ、示ル名ルハ、甲
 乙丙丁ノ下、ノ左ノ方ル、圈ノ内ノ標シ、ハ、直
 チ、單轉換、ニ、カ、カ、ハ、キヲ示シ、②ハ、不定轉換、①
 ハ、兩約位置ノ相換、③ハ、反言對ヲ、用フ、ヘ、キヲ示
 シ、タリ、春、夏、秋、冬、ナ、且、神、字、ハ、假、三、軌、ノ、名、ト、ス、ル
 者、ハ、中、ハ、決、メ、圖、ニ、照、シ、見、ル、ハ、下、ノ、方、キ、記、ス
 ス、名、ハ、聊、カ、原、名、ヲ、遺、サ、ム、為、ナ、リ、此、原、名、ヲ、能、記
 シ、得、タ、ラ、ハ、容、易、ク、直、シ、得、ヘ、シ、ソ、ハ、先、各、頭、ヲ、シ、ム
 音、バ、ビ、ブ、ベ、ボ、ナ、ラ、ハ、正、圖、ノ、六、即、チ、春、ニ、當、ル、カ
 キ、ク、ケ、コ、ナ、ラ、ハ、正、圖、ノ、二、夏、ニ、當、ル、チ、シ、テ、五

ナラハ、正圖ハ三、秋ニ當リ、空ヲ有ラナラハ、正
 圖ノ四、冬ニ當ルト知ルヘシ、又カダハノ如キ、
 アノ韻アルハ、甲ナリ、ベケデ五ノエノ韻アルハ、
 丙ナリ、ビキヲ等イノ韻アルハ、乙ナリ、ボユド
 子等オノ韻アルハ、丁ナリト知ルヘシ、又サシス
 ソ等ノ音アルハ、名ハ、單轉換ニテ、直スヘシ、カキク
 コ等ノ音アルハ、反言對ニカクヘク、マミムモ等
 ノ音ニハ、位置相換タルヘク、パピポ等ハ、全
 特ニ、變スヘキヲ、示シタルナリ、コハ、少シク、洋字
 ニ通レタル輩ニハ、次ノ原文ニテ、明カニ知ラル

Monemonic table.

*Barbara, celarent, prima
 darii, ferioque:*
*Cesare, caestres, festino,
 baraco, secunda:*
*Tertia darapti, disamis,
 datisi, felapton, feriso,
 bocardo habet:*
*Quarta insuper addit,
 bramantip, camenes, dimaris,
 fesapo, fresison.*

a	e	i	o	b	c	d	f
甲	丙	乙	丁	春	夏	秋	冬
単	反	位	錯				

尚爰ニ上ノ四圖十九軌ヲ著ハシテ、委シク之ヲ示スヘシ、觀△者上ノ名ト相較セヨ

四圖十九軌之表

<p>第一</p> <p>甲 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 少 ○ 中</p> <p>甲 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第二</p> <p>丙 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 少 ○ 中</p> <p>丙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第三</p> <p>甲 ○ 中 ○ 老</p> <p>乙 ○ 少 ○ 中</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第四</p> <p>丙 ○ 中 ○ 老</p> <p>乙 ○ 少 ○ 中</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>
<p>第五</p> <p>丙 ○ 老 ○ 中</p> <p>甲 ○ 少 ○ 中</p> <p>丙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第六</p> <p>甲 ○ 老 ○ 中</p> <p>丙 ○ 少 ○ 中</p> <p>丙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第七</p> <p>丙 ○ 老 ○ 中</p> <p>乙 ○ 少 ○ 中</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第八</p> <p>甲 ○ 老 ○ 中</p> <p>丁 ○ 少 ○ 中</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>
<p>第九</p> <p>甲 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十</p> <p>乙 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十一</p> <p>甲 ○ 中 ○ 老</p> <p>乙 ○ 中 ○ 少</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十二</p> <p>丙 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>

<p>第十三</p> <p>丙 ○ 中 ○ 老</p> <p>乙 ○ 中 ○ 少</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十四</p> <p>丁 ○ 中 ○ 老</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十五</p> <p>甲 ○ 老 ○ 中</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十六</p> <p>甲 ○ 老 ○ 中</p> <p>丙 ○ 中 ○ 少</p> <p>丙 ○ 少 ○ 老</p>
<p>第十七</p> <p>乙 ○ 老 ○ 中</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>乙 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十八</p> <p>丙 ○ 老 ○ 中</p> <p>甲 ○ 中 ○ 少</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>	<p>第十九</p> <p>丙 ○ 老 ○ 中</p> <p>乙 ○ 中 ○ 少</p> <p>丁 ○ 少 ○ 老</p>	

第二十二章 扱格諸題 [already logistic]

右ニ舉タル正格ノ外ニ、尚彼此ノ據證ニ備フヘキ者アリ、コハ正格ノ如ク、備ハリタル者ニ非レ氏、彼此ノ文、トモニ、見ユルコトアレハ、心得ヘキコトナリ、一ツニハ、演題トマテ、ナラサルニ題ニ

大レト現在ハ又元定カナラヌ様ニテ、イハロ。若
 クハハ。ナリ。又、イハロ。ニ非レ。必スハ。ナリ。ナト
 ハ如ク、ロ。トハ。トノ内、十ツハ真ト一ツハ偽ハ
 ニテ、定メ難キナリ、其否定又複題モ、推シテ知ル
 へ。此中、雙契體[Hypothetical]ト云フ、譬へ、イハロ。ナリ、
 約契體[Hypothetical]ト云フ、譬へ、イハロ。ナリ、
 如シ、致知學ノ本書ニ、考フヘシ、是ニ種々ハ説
 大レト遂ニ真トヲ頭ハ、コトナシ、三ツニハ、渾
 體[Societies]又連環體[Chain arguments]ト云フア

リ、コハ、多クノ少約ヲ重子タルニテ、其順體ハ、イ
 ハロ。ナリ、ロハハ。ナリ、ハハ。ニナリ、ニハホ。ナリ故
 ニホハ。イナリ、其逆體[posteman Societies]ハ、ニハホ。
 ナリ、ハハ。ニナリ、ロハハ。ナリ、イハロ。ナリ、故ニイ
 ハホ。ナリ、ナトノ如シ、コハ、正格ニ直スコトヲ得
 へシ、譬へ、ハ、イヨリ上、三ツノ極ヲ、取りタラハ、ロ
 ハハ。ナリ、イハロ。ナリ、故ニイハハ。ナリ、ナトノ如
 シカク、極ノ多キニ因テ、演題ノ三ツトモ、四ツト
 モナスへシ、四ツニハ、此連環體ト、前ノ雙契體ト
 相交レル者ヲ、二重體[determina]ト云フ、其例シ左

ノ如シ

老約 イハ口ナリトシ又ハハニナリトセハ

少約 今イモ口ナリ又ハモニナリ

斷言 カレホハナリ

又老約 イハ口ナリトセハハニナリトモ又

少約 然レモニニ非ス又ホモヘニ非ル

斷言 カレイハ口ニ非ルナリ

カ、ル體モ昔ヨリ致知學家ニテ種々ノ論ヲヒ

ヲ經テ心ヲ盡シテ委シク究ハネツル者アリケ

レト徒ニ奇ラシキヲ好ムノミニテ真トヲ顯ハ

ス便リトモナリ難キコト多シト云ヘリ中ニモ

此ニ重體ハ詭論ニ陥ルコト多キソカレソハ次

ニ見ヨ

第二章 真偽易混

此書ニテ前方ヨリ屢偽ハリ又偽題 [John Casey]

云フ語ヲ用ヒツコハ度量形質ナトク見損ヒヨ

リ題ノ内ニ隠ヒコミタル誤リナリコハ學ヒソ

未夕積ニヤラ又際ハ有リ勝ナルコトナルヲ、今
云ハル詭論 [Sophism] テフハイト容レ難キ業
ニテ己カ過チヲ飾リ、非ヲ遂ケ人ヲ偽ハリニ陷
シ入レナムト謀ルヨリ、出ツルコトナリ、今ハ此
詭論ノ例シトテ、カノ希臘ヨリ傳ハリタル名高
キ話シテ、一ツニツ舉ナム、此詭論ニ種々ノ類ト
アルカ中ニ二重題ノ詭論ノイト欺カレ易クシ
テ、斷言ニツニテ、何レカ真トナリトモ、判チ難キ
程ナリ、其一ツヲ、鰐魚ト老嫗ノ争ヒト云フ昔埃
及ニテ、嫗ノ己カ見連レテ、尼羅ノ河邊ニ至リケ

ルカ、其見鰐魚ニ捕ラレテケレハ、嫗鰐魚ニ向ヒ
テ、イト懇口ニ、返シテ給ヘト、乞ヒケルニ、鰐魚
對ヘテ、吾此兒ヲ如何ニスラム、汝、真ニ言ヒ當チ
ハ、返シテムト云フ、嫗對ヘテ、ヨモヤ、汝ハ其兒ヲ
我ニ返ヘスマシト云フ、此時鰐云フヤウ、汝ノ言
ヒシ所、真トナラハ、我其真トニ背キテ、此兒ヲ返
スヘカラスモシ、汝カ言ヒシ所、偽リナラハ、吾ハ
真ナラハ、返ヘシテムトコソ、言ヒツレ、争テハ、此
子ヲ返ヘスヘキトアリケルニ、嫗對ヘテ、吾真
ニ言當チラハ、汝契リシ隨ニ、我ニ返ヘスヘシ、又

教和教錄 卷二 三十五 計蘇

吾言ビシコト、當ラヌテハ、汝先我ニ其兎ヲ、
 返ヘシタル上、ニテコソ有ヘケレ、サレハ、何レノ
 道ニモ、其兎ハ我ニ返ヘスヘシト、カクナム言ヒ
 争ヒケルハ、何レカ真ナルヘキ、又昔シ希臘ニ埃
 華多拉斯ト云ヘル人アリ、普魯太格羅斯テス、其
 頃ノ名高キ詭論家ニ就テ、狀師ノ道ヲ學ヒニケ
 ルカ、埃華多拉斯ハ、家富キ財饒カナリケレハ、師
 ニ契リテ、學果テ、初メテハ訟ヘニ、勝チナハ、若干
 ノ謝銀ヲ、償ヒナムト、云ヘリ、サテ學ヒ果テ、月日
 ヲ歴ヌレト埃華多拉斯訴ヘヲナサ、リケル程

ニ、普魯太格羅斯堪カテ、促カンケルニソ、遂ニ
 此事ニテ、訟トハナリケリ、サテ師ノ言フニハ、吾
 此訟ヘニ勝チナハ、汝公ケノ法ニ從カヒ、素ヨリ、
 吾ニ過金ヲ償フヘシ、モシ又吾負ケナハ、汝我カ
 教ヘニ因テ、勝チタル故、吾ニ謝金ヲ、出スヘシト
 アリケルニ、弟子對ヘテ、吾勝チナハ、素ヨリ、過金
 ヲ償フヘキ理リナシ、又吾負ケナハ、争テ謝金ヲ
 出スヘキ、吾ハ勝チタリトモ、負ケタリトモ、金ハ
 償ナハシト争ヒケルトナム、コモ又何レカ真ト
 ナリヤ

第二十四章 模範諸種

致知學家ノ著ハセル諸本、年ニ踵キ、月ニ新タニ
 シテ、其模範 [systems] ノ立、方モ、從ヒテ異ナリ、或
 ハ前ノ互證ヲ、全ク同一不同一ノ條下ニ論ラヒ、
 之ヲ以テ、辨決ノ運用トシ、或ハ正格ノ演題ト物
 體ノ諸題トヲ、並ヘ列ラテ、辨決ノ體ニ、確定 [cases
 general] 約契 [hypothetical] 離撰 [disjunctive]、三
 ツアリトスルナト、或ハ專ラ學トシテ、爰ノ第十
 三章ヨリ、前ツ方ヲ、詳カニシタルト、或ハ其後ヲ
 精シクシタルナト、種々ノ異リアリテ、舉ケ悉ス

ヘキニ非ス、又ナヘテノ規則モ、大方ハ、前ニ示シ
 ツル如シト雖、其詳カナルコトハ、尚數十ノ卷
 ヲ重ヲトモ、盡スヘキニ非ス、中ニハ、種々ノ圖ナ
 トニテ、サル考ヘ、相係ハレル様ヲ、示セルナト
 モアリ、コハ皆其原ツ書ニ、譲リテ、爰ニハ漏シツ、
 又前ニモ、云ヒツル如ク、四圖ヲ取ト、取ラサルト、
 其說區々ニテ、多クハ第一圖ニノミ限レリ [series
 to the, Emmanuel Kant, Sir William Hamilton
 余]モ精シクハ、究ノ得子ト、多キニ從フヲ、善カ
 ノリト欲フナリ、サレハ、此四圖ノ官能ヲ、手短カ

ニ説キテ、其用例ヲ舉ケナム、サテ、此四圖ノ用法
 モ、精シキ論ラヒアルカ中ニ、第一圖ハ、學術上ニ
 本ツキタル考ヘテ、辭ニ措クニ、殊ニ能適ヒタル
 式ニ、殊別ノ一體ヲ取テ、萬ツニ貫通スル一理
 [Prime idea]ノ内ニ、包摂セシムル者ナリ故ニ
 名ケテ、包摂 [Subsumption]ノ圖ト云フ、譬ヘハ、得
 ハカラサルノ道ニ從フハ、惑ヒナリ、好惡ニ因テ
 生死ヲ欲スルハ、得ヘカラサルノ道ニ從フナリ
 カレ、好惡ニ因テ生死ヲ欲スルハ、惑ヒナリナト
 ノ如ク、惑フテフコト、多キカ中ニ、求ムル得ヘカ

ラサルノ道ニ從テ、其然ラムヲ欲スルハ、惑ヒノ
 一ツナリ、而テ又求メ得難キ道ニ從フコトモ、數
 多アルカ中ニ、今愛スル時ハ、生キムヲ欲シ、惡ム
 時ハ、死ナムヲ欲スルハ、求ムヘカラサルコトノ
 一ツナレハ、是亦惑ヒナリト、辨決レテ、惑ヒテフ
 老極ハ、求メ得ヘカラサル道ニ從フテ、中極ヲ
 包摂シ、求メ得ヘカラサル道テ、中極ハ、愛シテ
 生キムヲ欲シ、惡ミテ死ナムヲ欲スルテ、事實
 ヲ包摂シタリト見ル、是第一圖ノ用法ナリ、第二
 圖ハ、考ヘテ陳ルニ、落チ着カ又所多シ、然レモ、否

ニテ、譬へハ忠信ヲ主トシ、義ニ徙ル者ハ徳ヲ崇
 ウスル者ナリ、忠信ヲ主トシ、義ニ徙ル者ハ素ア
 リテ進ム者ナリ、カレ、素アリテ進ム者ハ徳ヲ崇
 ウスル者ナリ、ナトノ如ク、忠信ヲ主トシ、義ニ徙
 ルテ、素アリテ進ム者ハ、總テ徳ヲ崇ウスル類ヲ
 ニテ、素アリテ進ム者ハ、總テ徳ヲ崇ウスル類ヲ
 成ス者ト見ルナリ、第四圖ハ、其用稀ナリ、之ヲ交
 互ノ式 [reciprocity] ト云フ、譬へハ、賢ニ事へ、仁
 ヲ友トスル者ハ、先其器ヲ利スル者ナリ、先其器
 ヲ利スル者ハ、其事ヲ善セムト欲スル者ナリ、カ

レ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ賢ニ事へ、仁ヲ友
 トスル者ナリ、ナトノ如ク、之ヲ交互ト云フハ、賢
 ニ事へ、仁ヲ友トスル者ハ、其事ヲ善セムト欲ス
 ル者ナリ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ、先其器ヲ
 利スル者ナリ、カレ、先其器ヲ利スル者ハ、賢ニ事
 へ、仁ヲ友トスル者ナリ、ニテモ同レキカ如ク、是
 ソ四圖ノ用法ナル

第二十五章 歸納開端

此書ノ第一章ニ、略云ヒレカ如ク、此書ハ唯舊キ
 致知學ノ命題ヨリ、演題ニ至ルマテハ法則ヲ、搜

概論ラヒテ、初學ヒ、^{カケ}措梯トカシツルマテニテ、
 新シキ致知學人歸納ノ法ハ固ヨリ約翰士德亞
 多彌爾氏ノ致知軌範ニ、讓ラハテ思ヒタルニサ
 ハ、^ハ仁一、^ハ猶一、^ハ通リ論ラヒテ、學者ニ、其緒ヲ示サ
 テハ得モ已ムマシキコトアルナリソハ、^ハ演繹
*deduction*ト、^ハ歸納 *induction*トハ、^ハニツハ、^ハ差
 ナリ是ヲモ前ノ第十章ニ、^ハ鉤引套挿ノ術、^ハ姑
 名ヲ命シテ示シツルコトナリカ、^ハ爰ニテハ、^ハ致知
 學ノ全體ニ係ハリテ、^ハ廣ク致知ノ術ニ、^ハニツハ、^ハ道
 アルコトヲ明、^ハスナリ、^ハ先、^ハ今マテ舉ケタル演題ニ

テハ、其老約ニテ通理 *particular*ト、^ハ揭外示ス者、^ハ老
 差主ヨリ、^ハ差客ニ涉リ、^ハ其通理ヲ、^ハ演繹シテ、^ハ斷言
 ニテ、^ハ特稱ノ者ヲ、^ハ斷ハルナリ、^ハ譬マハ、^ハ似テ非ナル
 者ハ、^ハ真ヲ害スル者ナリ、^ハ莠ハ、^ハ稻ニ似テ非ナル者
 ナリ、^ハカレ、^ハ莠ハ、^ハ真ヲ害スル者ナリ、^ハ朴云フカ、^ハ如ク
 老約ハ、^ハ通理ヲ、^ハ掲ケ示シタルハ、^ハ凡テ、^ハ似テ非ナル
 者ハ、^ハ真ヲ害スルコトヲ、^ハ指シ、^ハ誰ニモ、^ハ能、^ハ知レタル
 通理ニテ、^ハ獨リ、^ハ莠ヲ、^ハ稻ニ似タルノ、^ハミチラヌ、^ハ郷愿
 ノ君子ニ似タル、^ハ諂諛ノ、^ハ恭讓ニ似タル、^ハ頑固ノ、^ハ剛
 毅ニ似タル、^ハ何ニテモ、^ハ似テ非ナル者ハ、^ハ此性ヲ具

へサルナシ、是郷愿諂諛頑固等ノ字ヲ、少極トナ
 シテ、少シモ、通セサルコトナク、極メテ能、適ビタ
 ルニテ、知ルヘシ故ニ少約ハ必ス老約ノ理ヲ、演
 繹シテ之ヲ一物若クハ一ツ若事實ニ結ビツケ
 テ、示ス者ナルカ故ニ、之ヲ演繹ハ法トハ云フナ
 リ、サレハ、此老約ノ通理モ、真ヲ得サル時ハ、偽
 題ニ陥ル者危キニ演スルハ、言ヲ待、スレテ、是演
 繹ノ法ノ真理ヲ徹スルニ、足ラサル所ナリ、或説
 ニ、演題ヲ難シテ老約ノ全称ヨリ、少約ノ特称ニ
 移レハ、特ハ既ニ全ノ内ニ、會ハタム物ナルカ故

ニ、断言ハ入ラヌコトナリ、譬ヘハ、人ハ死スヘキ
 者ナリ、辨慶ハ人ナリ、カレ辨慶ハ死スヘキ者ナ
 リ、ト言ハ、人ハト指ス内ニ、既ニ辨慶モ、籠リタ
 ル故ニ、断言ニテ、カレ辨慶ハト、再ヒ繰リ反スハ、
 益ナキコトニテ、演題ハ何ノ値ヒモ無キ者ナリ
 ト云ヘリ此難題深ク致知學家ノ骨ニ徹リテ、イ
 ト痛キ難シナレト、サレハトテ、演題モ、難助ニ属
 シテ、捨テモヤラテ、種々ノ説ヲ立ツル中ニ、彌爾
 氏ニ至リ、始メテ、之カ發明ヲナレテ、演題ハ、演繹
 ニハアラテ、正シク歸納ノ法ナリト云ヘリ、ソハ

歸納ノ法ハ、差客ヨリ差主ニ進ミ、特ヨリ全ニ若
 クハ特ヨリ特ニ、推ス者ナルニ、老約ノ通理ハ、多
 少特別ノ經驗ヲ集メテ、合セ立タル者ナレハ、譬
 ハ、前題ノ老約ハ、賴朝モ、義經モ、景時モ、其外古
 今ノ人モ、死ニキト、言フニ均シク、唯言語ノ術ニ
 テ、纏メテ人ト言ヒタル者ナレハ、本ハ亦、特ヨリ
 特ニ移ル者ナリト、此發明ニテ、或説ノ難題ヲモ
 解キ、且前人ノ演繹トノミ、心得タルヲ翻ヘシテ、
 演題モ再ヒ、其用ヲナスコトトハナリヌ、サレハ、
 凡テ吾人ノ、智識ノ開ケユク道ハ、皆此歸納ノ法

ニ由ル者ニテ、是ソ必ス親シク視察[Observations]
 ノ經、經驗上[experimental]ニ本ツキ各自殊別ノ
 事實ヲ集合シテ、貫通セシム一理ヲ得ヘキ切實無
 ニノ方法ナル、從來心理上[intellectual]ノ諸學
 ニ在テハ、諸家率テ、カノ演繹ノ法ニ依テ事ヲ論
 スルモノカエ、紛拏喧惑、今日ニ至ルマテ、一定歸
 着ノ論鮮キヲ、カノ物理上[physical]ノ諸學家ニ
 テハ、舊クヨリ一意ニ歸納ノ法ニ、從事セルヨリ
 今日ニ至リ、確乎不拔、彼カ如ク、其盛ナルヲ致セ
 リ、サレハ學者亦爰ニ從事スヘキコト、言フ待タ

スレテ明カナルコトニテ、彌爾氏ノ致知軌範ニ、
 各個之事實若各個之見象者、一個若數個之理法
 以貫通之。[Every fact or phenomenon is governed
 by a law or laws]ト、理ノ本體ヲ示シ、又同一
 因緣生同一應効。[Like causes produce like effects]
 講究ノ術。[The four methods of experimental
 inquiry]ニ、曰ク一致。[agreement] 曰ク別異。[differences]
 曰ク剩遺。[residues] 曰ク伴結之差。
 [Concomitant variation]テ、四法ヲ開示セリ、學者

ワレ之ヲ本書ニ講究セヨ

致知啟蒙第二卷終大尾

致矢啓蒙
 卷二
 廿
 致矢啓蒙
 卷二
 廿



發兌

東京
 本町三丁目
 瑞穂屋卯三郎

書林

大坂
 唐物町四丁目
 河内屋吉兵衛

